

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第4977628号
(P4977628)

(45) 発行日 平成24年7月18日(2012.7.18)

(24) 登録日 平成24年4月20日(2012.4.20)

(51) Int.Cl.

HO4N 7/173 (2011.01)

F 1

HO4N 7/173 630
HO4N 7/173 640A

請求項の数 7 (全 90 頁)

(21) 出願番号 特願2007-558221 (P2007-558221)
 (86) (22) 出願日 平成18年3月2日 (2006.3.2)
 (65) 公表番号 特表2008-532182 (P2008-532182A)
 (43) 公表日 平成20年8月14日 (2008.8.14)
 (86) 國際出願番号 PCT/US2006/007436
 (87) 國際公開番号 WO2006/094131
 (87) 國際公開日 平成18年9月8日 (2006.9.8)
 審査請求日 平成21年2月25日 (2009.2.25)
 (31) 優先権主張番号 60/658,270
 (32) 優先日 平成17年3月2日 (2005.3.2)
 (33) 優先権主張国 米国(US)
 (31) 優先権主張番号 60/667,870
 (32) 優先日 平成17年4月1日 (2005.4.1)
 (33) 優先権主張国 米国(US)

(73) 特許権者 500050376
 ユナイテッド ビデオ プロパティーズ
 インク
 アメリカ合衆国 95050, カリフォルニア州 サンタクララ, デラ クルーズ
 ブルバード 2830
 (74) 代理人 100078282
 弁理士 山本 秀策
 (74) 代理人 100062409
 弁理士 安村 高明
 (74) 代理人 100113413
 弁理士 森下 夏樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 双方向メディアガイダンスアプリケーションシステムにおけるプレイリストおよびブックマーク

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

双方向メディアガイダンスアプリケーション(IMG A)を使用してプレイリストトランスポートバーを表示する方法であって、

前記方法は、

プレイリストのためのプレイリストトランスポートバーを表示することを含み、

前記プレイリストトランスポートバーは、

複数のアセット領域であって、各アセット領域が前記プレイリスト内の1つのアセットに対応する、複数のアセット領域と、

前記プレイリスト内の再生位置の指示を提供する位置指示領域と

を備え、

前記位置指示領域は、前記プレイリスト内の前記再生位置と前記プレイリスト内の複数のアセットのうちの1つのアセットとを示し、前記位置指示領域は、アセットの再生の間に再生指示領域と共に移動するように配置された再生情報領域を含み、

前記方法は、前記再生情報領域のユーザー選択を受信することと、前記受信することに応答してプレイリストオプションメニューを表示することとをさらに含み、前記プレイリストオプションメニューは、前記1つのアセットに対して複数の機能のうちの1つの機能をユーザーが実行することを可能にする、方法。

【請求項 2】

前記位置指示領域の移動先の位置から前記プレイリスト内のアセットを再生することを

10

20

さらに含む、請求項₁に記載の方法。

【請求項3】

前記プレイリストトランSPORTバー内に表示される前記複数のアセット領域は、前記プレイリスト内の各アセットのためのアセット領域を含む、請求項₁に記載の方法。

【請求項4】

前記複数のアセット領域内のアセット領域の数は、前記プレイリスト内のアセットの数よりも少なく、前記プレイリストトランSPORTバーは、前記プレイリスト内の少なくとも2つのアセットのためのアセット領域を含む、請求項₁に記載の方法。

【請求項5】

前記表示されたアセット領域のうちの少なくとも1つは、前記表示されたアセット領域に対応するアセットの再生時間を表す、請求項₄に記載の方法。 10

【請求項6】

前記プレイリストトランSPORTバーは、現在再生されているアセットの一部をオーバーレイするオーバーレイとして表示される、請求項₁に記載の方法。

【請求項7】

プレイリストトランSPORTバーを表示するシステムであって、
前記システムは、プレイリストトランSPORTバーを表示するように動作し、
前記トランSPORTバーは、
複数のアセット領域であって、各アセット領域がプレイリスト内の1つのアセットに対応する、複数のアセット領域と、 20

前記プレイリスト内の再生位置の指示を提供する位置指示領域と
を備え、

前記位置指示領域は、前記プレイリスト内の前記再生位置と前記プレイリスト内の複数のアセットのうちの1つのアセットとを示し、前記位置指示領域は、アセットの再生の間に再生指示領域と共に移動するように配置された再生情報領域を含み、

前記システムは、前記再生情報領域のユーザー選択を受信し、前記受信することに応答してプレイリストオプションメニューを表示するように動作し、前記プレイリストオプションメニューは、前記1つのアセットに対して複数の機能のうちの1つの機能をユーザーが実行することを可能にする、システム。

【発明の詳細な説明】 30

【技術分野】

【0001】

本願は、米国仮出願第60/667,870号(2005年4月1日出願)および同第60/658,270号(2005年3月2日出願)の利益を主張する。これら出願の開示は本明細書に完全に援用される。

【0002】

(発明の背景)

本発明は、双方向メディアガイダンスアプリケーションシステムにおいてプレイリストおよびブックマークを提供するためのシステムおよび方法に関する。

【背景技術】 40

【0003】

プレイリストは既知であり、これを使用してアセット(例、テレビ番組、曲など)を再生する順序を決定することが可能である。本願明細書で定義されるように、アセットは、再生することが可能なあらゆるタイプのメディアのことである。当該のメディアには、全てのバリエーションのテレビメディア、音楽メディア、双方向ゲーム、および他のオーディオおよび/またはビデオメディアが挙げられる。アセットは、プレイリストに追加したり、プレイリストから削除したり、プレイリスト内で再編成したりすることが可能である。様々なユーザーインターフェースを提供して、ユーザーが当該の変更を行えるようとする。

【0004】 50

プレイリストは、複数のアセット、例えば、2つないし数百または数千に及ぶ類似した、または異なるタイプのアセットを含むことが可能である。したがって、各アセットの再生時間を合計するときに、プレイリスト全体を再生するに、実質的な時間の長さが必要である。プレイリストは複数のアセットを含むことが可能なので、ユーザーは、特定のプレイリスト内のアセットの再生に関連する情報の提供を望む場合がある。例えば、ユーザーは、プレイリストまたはアセットの再生中に、どのくらいの時間が経過したのか、またはプレイリストまたはアセットにどのくらいの時間が残っているのかを知りたい場合がある。既知のシステムでは、どのくらいの時間が経過したのかに関する情報を提供することが可能であり、所与のアセットに対してどのくらいの時間が残っているのかを表示することが可能であるが、これらのシステムでは、当該の情報の提供が1つの所与のアセットに制限され、さらに、プレイリスト内の位置感覚をユーザーに与える情報を同時に提供することができない。さらに、これらのシステムの一部は、当該の情報を表示するための全画面表示が必要であり、それによって、ユーザーは、プログラムおよびプレイリストに関連する情報を同時に見ることができない。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

したがって、ユーザーが、プレイリストおよび特定のアセット内の再生位置を容易に確認できるような様態で情報を提供するためのシステムおよび方法を提供することが望ましい。

【0006】

また、プレイリストおよびブックマークに関連する機能のためのシステムおよび方法を提供することも望ましい。

【0007】

さらに、プレイリストおよびブックマーク機能へのアクセスを提供するVOD (Video On Demand : ビデオオンデマンド) プログラム情報画面を提供するためのシステムおよび方法を提供することが望ましい。

【課題を解決するための手段】

【0008】

本発明の原則に従って、プレイリストトランスポートバーを提供するためのシステムおよび方法が提供される。前記プレイリストトランスポートバーは、ユーザーがプレイリストおよび特定のアセット内の再生位置を同時に確認できるような様態で、前記プレイリストのアセットを視覚的に示すオーバーレイを提供する。本願明細書で定義されるように、再生位置とは、(例えば、再生、一時停止、巻き戻し、早送り、次のアセットの先頭へのスキップなど) アクセスされる特定のアセットを含む、前記プレイリスト内の特定の位置に対応する位置である。例えば、プログラムが、アセット(例、VOD プログラム)の中間点で一時停止された場合、前記再生位置は、そのアセットの前記中間点となる。別の例として、ユーザーが、プレイリストの合計5時間のプログラムの3時間目を見ている場合、前記再生位置は、(前記再生位置は、例えば、現在再生されているアセットに対して20分経過した位置となる可能性もあるが) プレイリスト内の全てのプログラムの3時間経過した時間位置となる。

【0009】

前記プレイリストトランスポートバーは、それぞれが前記プレイリスト内のアセットに対応する複数のアセット領域と、前記再生位置を表示する位置表示領域とを含むことが可能である。アセット領域が表示される様態は、複数の因子によって変化する場合がある。一実施態様では、前記プレイリスト内の各アセットのためのアセット領域を、前記プレイリストトランスポートバー内に表示することが可能である。前記手法では、前記双方向メディアガイダンスアプリケーションは、各アセット領域の大きさを適切に設定して、前記プレイリストトランスポートバー内に適合させることが可能である。前記双方向メディアアプリケーションは、前記アセットの再生時間に関係なく、各アセット領域が同じサイズ

10

20

30

40

50

になるように割り当てることが可能である。別様には、前記双方向メディアアプリケーションは、前記プレイリストトランスポートバー内に提供された限られた表示空間を考慮しながら、前記プレイリスト内の他のアセットの再生時間に関連する再生時間に基づいて、各アセット領域にサイズを割り当てることが可能である。例えば、2時間の長さのアセットを、30分の長さのアセットよりも大きなサイズに割り当てることが可能である。

【0010】

別の実施態様では、前記プレイリストトランスポートバーは、プレイリストの全ての潜在的アセットに対応するアセット領域によって前記プレイリストトランスポートバーが飽和状態にならないように、限られた数のアセット領域を表示することが可能である。前記プレイリストトランスポートバー内に常に表示されるアセット領域の数を制限することによって、前記双方向メディアガイダンスアプリケーションは、各表示領域に所定の最小量の空間を割り当てることができる。各領域に割り当てられた空間は、他の示されたアセットに対する特定のアセットの長さを正確に反映することが可能である。例えば、2時間のプログラムを、1時間のプログラムの2倍の長さであるアセット領域に表示させることが可能である。加えて、本実施態様では、前記プレイリスト内の前記再生位置を表示する情報を提供することが可能である。

10

【0011】

前記位置表示領域は、前記トランスポートバーに沿って移動し、前記プレイリストおよび／または特定のアセット内の再生位置に関連する情報を提供する、視覚的なインジケータとしての機能を果たすことが可能である。前記位置表示領域は、位置ニードルおよび情報領域を含むことが可能である。前記位置ニードルは、前記プレイリストおよび／または特定のアセット内の再生位置を視覚的に表示することが可能である。例えば、一実施態様では、前記位置ニードルは、特定のアセットおよび前記プレイリスト内の両方の前記再生位置を表示することが可能である。別の実施態様では、前記位置ニードルは、アセット内の位置だけを示すことが可能である。後者の実施態様では、前記情報領域は、前記プレイリスト内の前記再生位置に関する情報を提供することが可能である。前記情報領域は、現在アクセスしているアセットの経過時間、ユーザーがどのアクション（例、一時停止、早送り、再生再開など）を実行しているか、といった他の情報、またはプレイリスト内のアセットの再生に関連する他の情報を表示することが可能である。

20

【0012】

一実施態様では、ユーザーは、例えばリモート機器のカーソル矢印を使用して、前記位置表示領域を所望の位置に「ドラッグアンドドロップ」することが可能である。これによって、ユーザーは、前記位置表示領域を前記トランスポートバー上の任意の再生位置に手動で配置することができ、それによって、ユーザーに、特定の再生位置であらゆるアセットの再生を再開する能力を提供する。別の実施態様では、前記双方向メディアガイダンスアプリケーションによって、ユーザーが、次のアセット領域にスキップできるようにする。これによって、ユーザーは、隣接するアセット領域の先頭にスキップさせることができとなる。

30

【0013】

前記プレイリストトランスポートバーによって、ユーザーは、ハイライト領域を前記トランスポートバー内の様々な要素にナビゲートすることが可能となり、必要に応じて、ハイライトされた領域を選択することができるようになる。例えば、ユーザーは、前記アセット領域、前記位置表示領域、およびプレイリスト名領域のような前記トランスポートバーの他の領域に、ハイライト領域をナビゲートすることが可能である。前記トランスポートバーのどの要素がハイライトまたは選択されているかに基づいて、更なる情報またはメニューを表示することが可能である。

40

【0014】

前記プレイリストトランスポートバーによって、ユーザーがプレイリストを変更できるように特に専用化された双方向メディアガイダンスアプリケーションにアクセスせずに、ユーザーが前記プレイリストを変更（例、アセットの削除）することが可能となる。加え

50

て、前記プレイリストトランSPORTバーによって、ユーザーは、別のプレイリストに切り替えることが可能となり、それによって前記ユーザーは、異なるプレイリストのアセットを再生することが可能となる。

【0015】

他の実施態様では、プレイリストおよびブックマークに関連する機能を提供するシステムおよび方法を提供する。加えて、プレイリストおよびブックマーク機能へのアクセスを提供するVODプログラム情報画面を提供するシステムおよび方法も提供する。

【発明を実施するための最良の形態】

【0016】

本発明の上述の機能および他の機能、その性質および様々な利点は、添付図面とともに以下に詳細な説明を考察することによってより明らかになろう。

10

【0017】

本文書は、5つの主要な節に分けられる。第I節では、本発明の様々な実施態様による、双方向メディアガイダンスアプリケーションシステムのための例示的なシステムアーキテクチャについて説明する。第II節では、本発明の様々な実施態様による、プレイリスト関連の機能について説明する。第III節では、本発明の様々な実施態様による、ブックマーク関連の機能について説明する。第IV節では、本発明の様々な実施態様による、プレイリストからプログラムを再生するための例示的なトランSPORTバーについて説明する。第V節では、本発明の様々な実施態様による、プレイリストおよびブックマーク機能へのアクセスを提供するための例示的なVODプログラム情報画面について説明する。

20

【0018】

(第I節 例示的なシステムアーキテクチャ)

本発明の原理による例示的な双方向メディアシステムを図1に示す。ユーザー機器10は、通信経路22を通じてメディアソース20からコンテンツを信号の形態で受信する。

【0019】

メディアソース20は、例えば、ケーブルシステムヘッドエンド、衛星テレビ配信設備、テレビ放送設備、またはコンテンツを発生または配信するためのあらゆる他の好適な設備のような、あらゆる好適なソースとすることが可能である。メディアソース20は、例えば、衛星経路、光ファイバ経路、ケーブル経路、または他のあらゆる好適な有線または無線経路を含む、あらゆる好適な通信経路22を通じて信号を送信するように構成することが可能である。信号は、例えば、テレビ番組、インターネット、音楽、ニュース、テレビ番組のリスト、またはあらゆる他の好適なメディアのような、あらゆる好適なコンテンツを担送することが可能である。

30

【0020】

VODサーバー26は、オンデマンドプログラム、および関連するVODプログラムデータ(例えば、VODのタイトル、VODの説明、VODの価格(該当する場合)、VODの表示ウィンドウデータ、および他のVODメタデータ)を提供する。VODサーバー26は、プログラムデータのデータベース28への格納およびそこからの取り込みを行う。後述するように、VODサーバー26は、いくつかの実施態様では、ユーザー機器10のユーザーのために、プレイリストおよび保存したプログラムリストもデータベース28内に格納する。VODサーバー26は、通信経路22を通じてユーザー機器10とメッセージおよびメディアの交換を行うが、他の実施態様では、別個の経路(図示せず)を通じて通信を行うことが可能である。VODサーバー26は、例えば、ケーブルシステムのヘッドエンド内に常駐することが可能である。必要に応じて、VODサーバーは、メディアソースとすることも可能である。

40

【0021】

ユーザー機器10には、例えば、コンピュータ機器(例えばテレビカードを備えたパソコン用コンピュータ(PC-TV))、テレビ装置、またはあらゆる他の好適な装置を含む、あらゆる好適な装置が挙げられる。テレビ装置には、テレビ、セットトップボックス、記録機器、ビデオプレーヤ、ユーザー入力デバイス(例、リモートコントロール、キーボ

50

ード、マウス、タッチパッド、タッチ画面、音声認識インターフェースなど)、または以下の様々な実施態様において説明する機能を有する双方向テレビエクスペリエンスの提供に好適なあらゆる他の機器が挙げられる。図1の例では、ユーザー機器10は、少なくとも制御回路18、表示装置12および記録機器14、およびユーザー入力機器16を含み、別個の機器または単一の機器として実装することが可能である。双方向メディアガイダンスアプリケーションを実装して、経路22を通じてメディアソース20によって送信されたコンテンツを表示装置12上に表示し、双方向メディアガイダンスアプリケーション機能を提供することが可能である。双方向メディアガイダンスアプリケーションは、ユーザーにVODコンテンツおよびVODサーバー26からのVODデータへのアクセスを提供することも可能である。

10

【0022】

記録機器14は、個人用ビデオレコーダ、デジタルビデオレコーダ(DVR)、ビデオカセットレコーダ(VCR)、DVDレコーダ、またはあらゆる他の好適なビデオレコーダのうちのいずれかとすることが可能である。記録機器14は、1つ以上のチューナを含むことが可能である。記録機器14は、ユーザー機器10上に常駐する双方向メディアガイダンスアプリケーションの制御下でプログラムを記録することが可能である。

【0023】

表示装置140は、例えば、テレビ用モニターおよびコンピュータ用モニターを含む、あらゆる好適な機器とすることが可能である。表示装置140は、オーディオ出力を提供するように構成することも可能である。

20

【0024】

ユーザー機器は、双方向プログラムガイドアプリケーションのような、ユーザーの命令を受信して、双方向メディアガイダンスアプリケーションの操作を行うように構成された制御回路18を含むことが可能である。制御回路18は、1つ以上のチューナ(例、アナログまたはデジタルチューナ)、デコーダ(例、MPEGデコーダ)プロセッサ、メモリ(例、RAMおよびハードディスク)、通信回路(例、VODサーバー26との双方向通信のためのケーブルモデム回路)、入出力回路(例、グラフィックス回路)、およびユーザー機器10の様々な機器への接続、ならびにアナログまたはデジタルテレビ番組、プログラムの記録、および双方向メディアガイダンス機能を提供するためのあらゆる他の好適な構成要素を含むことが可能である。制御回路18は、メモリからの双方向メディアガイダンスアプリケーションの命令を実行するように構成することが可能である。一実施態様では、制御回路18は、例えば、記録機器14、ディスプレイ12、またはあらゆる他の機器(例、セットトップボックス、テレビ、ビデオプレーヤなど)の一部のような、ユーザー機器10の機器のうちの1つの部分として含むことが可能である。

30

【0025】

ユーザー機器10は、1つ以上のデータソース24から双方向メディアガイダンスアプリケーションデータを受信することが可能である。データソース24の数は、双方向メディアガイダンスアプリケーションの数に依存することが可能である。例えば、1つのデータソース24が、非オンデマンドアセット(例、非ペイパービューおよびペイパービュー方式のテレビ番組)のための双方向メディアガイダンスデータを提供し、他のデータソースがホームショッピングアプリケーションデータのためのデータを提供することが可能である。いくつかの実施態様では、VODデータ(例、VODプログラム)およびプログラムガイドデータを、データソース24によってユーザー機器10に提供することが可能である。このような実施態様では、VODサーバー26は、さらにVODコンテンツを提供することが可能である。

40

【0026】

いくつかの実施態様では、データソース24は、好適なクライアント/サーバー手法を使用して、双方向メディアガイダンスアプリケーションにデータを提供することが可能である。データソースごとに1つのサーバーを存在させるか、または、いくつかの実施態様では、単一のサーバーが、ユーザー機器10と様々なデータソース24との間のプロキシ

50

として通信することが可能である。

【0027】

下述するプレイリストおよびブックマーク機能は、ユーザー機器10が、双方向テレビ番組ガイドのような双方向メディアガイダンスアプリケーションを提供する実施態様において提供されるものとされる。このような実施態様では、ユーザー機器10は、モトローラDCTシリーズのセットトップボックスを含むことが可能である。プログラムガイド命令は、制御回路18によって実行される(図1)。プログラムガイドデータは、データソース24から受信して、制御回路18によって格納される。制御回路18は、表示装置12上にプログラムガイド画面を表示するときに、プログラムガイド命令を実行し、メモリからプログラムガイドデータを取り込む。表示は、リモートコントロールのような入力機器16によって受信されるユーザーの命令に応えて提供することが可能である。
10

【0028】

これらの実施態様では、プログラムガイドは、ベンダー固有のVODサーバー26と通信するための拡張機能によってプログラムすることが可能である。プログラムガイド拡張機能は、VODサーバー26からVODデータをリクエストするための、およびVODサーバー26からのコンテンツにアクセスするためのベンダー固有のコードを含むことが可能な、VODベンダー固有のオブジェクトを呼び出すことが可能である。VODサーバー26は、例えば、プレイリストおよび保存プログラムリストデータのような双方向メディアガイダンスアプリケーションによって提供される、いくつかの機能のためのデータを格納することが可能である。
20

【0029】

明確にするために、以下の説明では、双方向メディアガイダンスアプリケーションが、双方向のテレビ番組ガイドまたは双方向テレビアプリケーションである一実施態様を説明する場合がある。しかし、以下の説明および述べられる機能は、例えば、オンラインプログラムガイドまたはウェブサイトのようなあらゆる双方向メディアガイダンスアプリケーションに適用することが可能であるものと理解されよう。

【0030】

(第II節 プレイリスト)
本発明のいくつかの実施態様は、プレイリストを作成および管理するための機能を提供する。プレイリストとは、双方向テレビアプリケーションがユーザーに対して逐次的に再生するプログラムのリストである。ユーザーは、プレイリスト内に含めるための1つ以上のプログラムを選択することが可能である。プレイリストの作成後、ユーザーは、再生するプレイリストを選択することが可能である。プレイリスト内の各プログラムは、ユーザーに対して順々に適時に再生される。いくつかの実施態様では、一時停止、停止、早送り、および巻き戻しのようなリアルタイムの機能を提供して、ユーザーが、プレイリスト内のプログラムの再生を制御できるようにすることが可能である。いくつかの実施態様では、双方向アプリケーションは、プレイリスト内に含めるためのプログラムを推奨するか、または予め作成したプレイリストを提供することが可能である。
30

【0031】

ユーザーが、双方向テレビ番組ガイド(IPG: Interactive televisionision Program Guide)を使用して、無料VODプログラムのプレイリストを作成および管理する一実施態様における、例示的な一組のプレイリスト機能を下述する。これは例示のためだけであるので、当該の機能は、プレイリストが他のタイプのプログラム(例、記録されたプログラム(例、図1の記録機器14に記録されたプログラム)および有料のオンデマンドプログラム)を含み、双方向テレビアプリケーションがIPGではない実施態様に組み込むことが可能である。
40

【0032】

下記の図2は、ユーザーにプレイリスト機能へのアクセスを提供するための「マイプレイリスト(MY PLAYLISTS)」のオプションを有する、例示的なVODメニューを示す図である。他の実施態様では、ユーザーは、例えば、IPGメインメニューま
50

たはVODプログラム情報画面（下記第V節を参照のこと）のような他のメニューまたは表示から、プレイリストの機能にアクセスすることが可能である。このレイアウトでは、VODメニューは、ビデオクリップのためのバーカーウィンドウ（barker window）を含む。

【0033】

図3は、ユーザーが、図2のVODメニューからマイ プлейリスト、または他のIPGメニューまたは画面を選択したとき、およびプレイリストが作成されていないときに表示されうる、例示的なプレイリスト未設定オーバーレイを示す図である。表1および2は、当該のオーバーレイの提供に関連して、IPGおよび／またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

10

【0034】

【表1】

表1:例示的なプレイリスト未設定オーバーレイのシステムの説明

No.	説明
1.0	ガイドは、ユーザーがVODのメインメニューから、または本ガイドによって提供されるメニューまたは画面からマイ プレイリストを選択したとき、およびプレイリストが作成されていないときに、プレイリスト未設定オーバーレイを表示することが可能である。
1.1	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、黄色の文字で「プレイリストが設定されていません」というタイトルをプレイリスト未設定オーバーレイ上に表示することが可能である。
1.2	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、白色の文字で「プレイリストを設定しますか？」というプロンプトをプレイリスト未設定オーバーレイ上に表示することが可能である。
1.3	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、白色の文字で「プレイリストを設定する」というラベルを有するOK／Yesアイコンをプレイリスト未設定オーバーレイ上に表示することが可能である。
1.4	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、白色の文字で「プレイリストを設定しない」というラベルを有するキャンセルアイコンをプレイリスト未設定オーバーレイ上に表示することが可能である。
2.0	デフォルトのハイライトを、OK／Yesアイコンとすることが可能である。
3.0	本節において指定された場合を除いて、本確認画面は、付録内の共通の確認オーバーレイの節に提供される説明に従うことが可能である。
4.0	新たな「デフォルト」のプレイリストは、「プレイリスト<プレイリストの命名にまだ使用されていない最小の正整数>」のフォーマットに基づいて、自動的に名前をつけることが可能である。

20

30

【0035】

【表2 - 1】

表2:例示的なプレイリスト未設定オーバーレイのアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
1.0	プレイリストを設定する	常に表示	新しい空のプレイリストを作成し、新しいプレイリストのデフォルトのプレイリスト画面を表示する。

40

【0036】

【表2 - 2】

表2: 例示的なプレイリスト未設定オーバーレイのアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
2.0	プレイリストを設定しない	常に表示	プレイリスト未設定オーバーレイを閉じる。

図4は、ユーザーが、図3のプレイリスト未設定オーバーレイ上の「プレイリストを設定する（SET UP PLAYLIST）」ボタンを選択したとき、プレイリストのリスト上の追加アイコンを選択したとき、またはプログラムを含まない既存のプレイリストにアクセスしたときに表示される例示的な画面を示す図である。デフォルトのプレイリスト画面は、プレイリストが空のときにそのプレイリストのデフォルトの情報を示す。表3乃至9は、当該の画面の提供に関連して、IPGおよび／またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。10

【0037】

【表3】

表3: 例示的なデフォルトのプレイリスト画面の瞬間的情報

No.	ライン	フォーマット	説明
1.0	1	左寄せ	デフォルトのプレイリスト名は、「プレイリスト<プレイリストの命名にまだ使用されていない最小の正整数>」の形態で黄色で表示される。 20
1.1	1	右寄せ	ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「〇個のプログラムがあります」という文字が白色で表示される。
2.0	2	左寄せ	ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「〇分」という文字が白色で表示される。
3.0	3	左寄せ	ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「以下を選択してプレイリストに名前を付ける、削除する、ロックする」という文字が白色で表示される。 30

【0038】

【表4 - 1】

表4: 例示的なデフォルトのプレイリスト画面のリーダーボックスの表示

No.	ライン	フォーマット	説明
1.0	1	左寄せ	ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「このプレイリストにプログラムを追加するには：」という文字が黄色で表示される。 40
2.0	2		空白
3.0	3	左寄せ	ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「1)追加したいプログラムを検索する。」という文字が白色で表示される。

【0039】

【表4-2】

表4: 例示的なデフォルトのプレイリスト画面のリーダーボックスの表示

No.	ライン	フォーマット	説明
4.0	4	左寄せ	ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「2)情報画面に進み、<プレイリストアイコン>を選択する。」という文字が白色で表示される。
5.0	5	左寄せ	ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「3)プログラムを追加するプレイリストを選択する。」という文字が白色で表示される。
6.0	6		空白
7.0	7	左寄せ	ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「また、<検索アイコン>を選択して追加するプログラムを検索する。」という文字が白色で表示される。

10

【0040】

【表5】

表5: 例示的なデフォルトのプレイリスト画面のアクションアイコン表

20

No.	名称	条件	説明
1.0	最後	常に表示	以前の画面を表示する
2.0	キーボード	常に表示	プレイリストキーボードオーバーレイを表示する
3.0	検索	常に表示	プレイリスト検索画面を表示する
4.0	ロック	常に表示	プレイリストロックオーバーレイを表示する
5.0	削除	常に表示	プレイリスト削除確認オーバーレイを表示する

30

【0041】

【表6-1】

表6: 例示的なデフォルトのプレイリスト画面の入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
1.0	電源	任意	通常
2.0	音量上げ	任意	通常
3.0	音量下げ	任意	通常
4.0	ミュート	任意	通常
5.0	チャネル上げ	任意	通常
6.0	チャネル下げ	任意	通常

40

【0042】

【表 6 - 2】

表6: 例示的なデフォルトのプレイリスト画面の入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
7.0	バイパス	任意	通常
8.0	メニュー	任意	通常
9.0	ガイド	任意	通常
10.0	音楽	任意	通常
11.0	テーマ	任意	通常
12.0	検索	任意	通常
13.0	設定	任意	通常
14.0	終了	任意	通常
15.0	最後	任意	通常
16.0	右矢印	最右端以外の任意のアクションアイコン	通常
16.1	右矢印	最右端のアクションアイコン	ガイドは、最左端のアクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。
17.0	左矢印	最左端以外の任意のアクションアイコン	通常
17.1	左矢印	最左端のアクションアイコン	ガイドは、最右端のアクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。
18.0	上矢印	任意	非アクティブ
19.0	下矢印	任意	非アクティブ
20.0	OK	任意	表5を参照のこと
21.0	数字 0-9	任意	通常
22.0	上へスクロール	任意	非アクティブ
23.0	下へスクロール	任意	非アクティブ
24.0	一日進める	任意	非アクティブ
25.0	一日戻す	任意	非アクティブ
26.0	ヘルプ	任意	非アクティブ
27.0	情報	任意	非アクティブ
28.0	お気に入り	任意	非アクティブ

10

20

30

40

【0043】

【表6 - 3】

表6: 例示的なデフォルトのプレイリスト画面の入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
29.0	ロック	任意	プレイリストロックオーバーレイを表示する
30.0	記録	任意	非アクティブ
31.0	停止	任意	非アクティブ
32.0	一時停止	任意	非アクティブ
33.0	再生	任意	非アクティブ
34.0	巻き戻し	任意	非アクティブ
35.0	早送り	任意	非アクティブ
36.0	PPV	任意	通常
37.0	文字 A-Z	任意	非アクティブ
38.0	VOD	任意	非アクティブ
39.0	ライブのTVに戻る	任意	非アクティブ
40.0	前方ヘスキップ	任意	非アクティブ
41.0	リプレイ	任意	非アクティブ
42.0	A	任意	非アクティブ
43.0	B	任意	非アクティブ
44.0	C	任意	非アクティブ
45.0	デジタル記録	任意	通常
46.0	スワップ	任意	非アクティブ

10

20

30

【0044】

【表7 - 1】

表7: 例示的なデフォルトのプレイリスト画面のその他イベント処理

No.	イベント	条件／コメント
1.0	画面タイムアウト	通常
2.0	メモ	通常
3.0	スケジュールされた記録ファイル	通常
4.0	順序付けしたPPVの開始	通常

40

【0045】

【表 7 - 2】

表7: 例示的なデフォルトのプレイリスト画面のその他イベント処理

No.	イベント	条件／コメント
5.0	PPV購入ウィンドウの期限切れ	非アクティブ
6.0	現在のプログラムを終了	通常
7.0	データベースへのデータの追加、削除、または変更	通常

10

【0046】

【表 8】

表8: 例示的なデフォルトのプレイリスト画面の画面／モードエントリ

No.	機能	説明
1.0	ガイドの初期化	VOD機能が利用可能になり次第、デフォルトのプレイリスト画面を利用可能とすることが可能である。
2.0	ハイライト	デフォルトのハイライトを、アクションアイコンバー上の最後アイコンとすることが可能である。
3.0	包含基準の表示	非適用
4.0	ソート／グループ化基準	非適用
5.0	カスタム化	オンデマンドアイコンは、MSOで設定可能とすることができる
6.0	他のエントリアクション	非適用

20

【0047】

30

【表 9】

表9: 例示的なデフォルトのプレイリストの画面フォーマッティング

No.	機能	説明
1.0	プログラムのタイトル	非適用
2.0	時間	通常
3.0	チャネル	非適用
4.0	他のテキスト	非適用
5.0	色	通常
6.0	インジケータ	非適用
7.0	ブランディング	非適用
8.0	オーディオ	通常
9.0	LED	通常

40

図5は、例示的なプレイリストのリストを示す図である。プレイリストのリストは、ユーザーの現在のプレイリストを表示する。これは、ユーザーが、VODメインメニュー、他のメニューまたは画面から「マイ プレイリスト」を選択し、1つ以上のプレイリストがすでに作成されているときに表示される。この画面から、プレイリストを追加してア

50

セスすることができる。表10乃至17は、当該の画面の提供に関連して、IPGおよび/VODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

【0048】

【表10】

表10:例示的なプレイリストのリスト画面のシステムの説明

No.	説明	
1.0	VODサーバー26は、相異なる加入者世帯のそれぞれに対してプレイリストのリストを保持することが可能である。	
1.1	プレイリストのリストは、プレイリストが作成された日時に基づいて、最近作成されたものから順に順序付けすることが可能である。	10
2.0	ガイドが、プレイリストのリストを要求したとき、および2つ以上のプレイリストが作成されていた場合、VODサーバー26は、ガイドにプレイリストを提供することが可能である。	
2.1	VODサーバー26は、プレイリストのリスト画面内のページを移動することで、更なるプレイリストのリストのページを表示できる。	
3.0	VODサーバー26は、プレイリストのリスト内の各プレイリストのための、少なくとも以下のメタデータを保持することが可能である。 ・プレイリスト名 ・プレイリスト内のプログラム数 ・プレイリストの合計所要時間	20
4.0	VODサーバー26は、ガイドからのリクエストに応えて、新しいプレイリストを追加することが可能である。	
4.1	VODサーバー26は、例えば、STB(Set Top Box; セットトップボックス)ごとに最大24のプレイリストを作成することが可能である。	
4.2	VODサーバー26は、リクエストが新しいプレイリストを追加するものであるが、STBに対するプレイリストの最大数に達している場合、ガイドにエラーを通信することが可能である。	
5.0	VODサーバー26は、ガイドからのリクエストに応えて、既存のプレイリストへのアクセスを提供することが可能である。	30
6.0	VODサーバー26は、STBの代替物を通してプレイリストの仕様を保持および転送することが可能である。	

【0049】

【表11】

表11:例示的なプレイリストのリストの概要

No.	説明	
1.0	プレイリストのリストは、ユーザーがガイドの設定で指定した言語で、画面のヘッダ領域の中央に「マイ プレイリスト」という白色のタイトルが後ろに続く、プレイリストアイコンを表示する。	40
2.0	作成することができるプレイリストの最大数は、例えば24とすることが可能である。	

【0050】

【表12】

表12: 例示的なプレイリストのリストの瞬間的情報

No.	ライン	フォーマット	説明
1.0	1	左寄せ	画面を起動したときにプレイリストが存在している場合、ハイライトされたプレイリストの名前が黄色で表示される。
1.1	1	右寄せ	画面を起動したときにプレイリストが存在している場合、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「<数>個のプログラムがあります」という文字が白色で表示される。ここで、<数>は、ハイライトされたプレイリスト内のビデオの数である。
1.2	1	左寄せ	画面を起動したときにプレイリストが現在存在していない場合、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「プレイリストが作成されていません」という文字が黄色で表示される。
1.3	1		画面を起動したときにプレイリストが存在しており、いずれのプレイリストもハイライトされていない場合、空白となる。
2.0	2	左寄せ	画面を起動したときにプレイリストが存在している場合、ハイライトされたプレイリストのランタイム(プレイリスト内の全てのプログラムの合計ランタイム)となる。
2.1	2		画面を起動したときにプレイリストが現在存在しておらず、いずれのプレイリストもハイライトされていない場合、空白となる。
3.0	3		ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「<追加アクションアイコン>を選択して、新しいプログラムを作成する」という文字が白色で表示される。

10

20

30

【0051】

【表13-1】

表13: 例示的なプレイリストのリストのアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
1.0	最後	常に表示	以前の画面を表示する

【0052】

【表13-2】

表13: 例示的なプレイリストのリストのアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
2.0	VOD	常に表示	VODメインメニューを表示する
3.0	下矢印	常に表示	プレイリストのリストの次のページを表示する
3.1	下矢印	常に表示	プレイリストの現在のページの下にいかなる利用可能な更なるページもない場合は非アクティブとなる。
4.0	新しい プレイリスト	常に表示	プレイリストの最大数に達していない場合、デフォルトのプレイリスト画面を表示する
4.1	新しい プレイリスト	常に表示	プレイリストの最大数に達した場合、最大プレイリスト数通知を表示する

10

【0053】

【表14-1】

表14: 例示的なプレイリストのリストの入力キー処理

20

No.	キー	画面フォーカス	動作
1.0	電源	任意	通常
2.0	音量上げ	任意	通常
3.0	音量下げ	任意	通常
4.0	ミュート	任意	通常
5.0	チャネル 上げ	任意	通常
6.0	チャネル 下げ	任意	通常
7.0	バイパス	任意	通常
8.0	メニュー	任意	通常
9.0	ガイド	任意	通常
10.0	音楽	任意	通常
11.0	テーマ	任意	通常
12.0	検索	任意	通常
13.0	設定	任意	通常
14.0	終了	任意	ガイドは、アイドルモード、表示、およびフリップバナーに戻すことが可能である。

30

【0054】

40

【表14-2】

表14: 例示的なプレイリストのリストの入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
15.0	最後	任意	通常
16.0	右矢印	リストセル	非アクティブ
16.1	右矢印	最右端以外の任意のアクションアイコン	通常
16.2	右矢印	最右端のアクションアイコン	ガイドは、最左端のアクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。
17.0	左矢印	リストセル	非アクティブ
17.1	左矢印	最左端以外の任意のアクションアイコン	通常
17.2	左矢印	最左端のアクションアイコン	ガイドは、最右端のアクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。
18.0	上矢印	最初のページ上の最上のリストセル	非アクティブ
18.1	上矢印	最初のページ以外の任意の最上のリストセル	ガイドは、前のページを表示し、選択可能性の最も低いリストセルをハイライトすることが可能である。
18.2	上矢印	ページ上の最上以外の任意のリストセル	ガイドは、次の高位のリストセルにハイライトを移動することが可能である。
18.3	上矢印	任意のアクションアイコン	ガイドは、最下のリストセルへハイライトを移動することが可能である。
19.0	下矢印	ページ上の最後以外の任意のリストセル	ガイドは、ページ上の次の下位のリストセルへハイライトを移動することが可能である。
19.1	下矢印	ページ上の最後のリストセル	ガイドは、デフォルトのアクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。
19.2	下矢印	下矢印以外の任意のアクションアイコン	非アクティブ
19.3	下矢印	下矢印アクションアイコン、最後以外の任意のページ	ガイドは、次のページを表示し、選択可能性の最も高いリストセルをハイライトすることが可能である。

10

20

30

40

【0055】

【表14-3】

表14: 例示的なプレイリストのリストの入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
19.4	下矢印	下矢印アクションアイコン、最後のページ	非アクティブ
20.0	OK	任意のリストセル	ハイライトされたプレイリストが少なくとも1つのプログラムを含み、ロックされておらず、またロックされたあらゆるプログラムを含んでいない場合、ガイドは、VODサーバー26からのハイライトされたプレイリストに対するデータをリクエストし、プレイリスト情報画面を表示することが可能である。
20.1	OK	任意のリストセル	ハイライトされたプレイリストが少なくとも1つのプログラムを含み、ロックされているか、またはロックされたあらゆるプログラムを含んでいない場合、ガイドは、PINロックオーバーレイを表示することが可能である。
20.2	OK	任意のリストセル	ハイライトされたプレイリストがいずれのプログラムも含まない場合、ガイドは、VODサーバー26からのハイライトされたプレイリストに対するデータをリクエストし、デフォルトのプレイリスト画面を表示することが可能である。
20.3	OK	任意のアクションアイコン	表13を参照のこと。
21.0	数字 0-9	任意	通常
22.0	上へスクロール	任意	通常
23.0	下へスクロール	任意	通常
24.0	一日進める	任意	非アクティブ
25.0	一日戻す	任意	非アクティブ
26.0	ヘルプ	任意	非アクティブ
27.0	情報	任意のリストセル	ハイライトされたプレイリストが少なくとも1つのプログラムを含み、ロックされておらず、またロックされたあらゆるプログラムを含んでいない場合、ガイドは、VODサーバー26からのハイライトされたプレイリストに対するデータをリクエストし、プレイリスト情報画面を表示することが可能である。
27.1	情報	任意のリストセル	ハイライトされたプレイリストが少なくとも1つのプログラムを含み、ロックされているか、またはロックされたあらゆるプログラムを含んでいない場合、ガイドは、PINロックオーバーレイを表示することが可能である。

【0056】

【表14-4】

表14: 例示的なプレイリストのリストの入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
27.2	情報	任意のリストセル	ハイライトされたプレイリストがいずれのプログラムも含まない場合、ガイドは、VODサーバー26からのハイライトされたプレイリストに対するデータをリクエストし、デフォルトのプレイリスト画面を表示することが可能である。
27.3	情報	任意のアクションアイコン	非アクティブ
28.0	お気に入り	任意	非アクティブ
29.0	ロック	任意	非アクティブ
30.0	記録	任意	非アクティブ
31.0	停止	任意	非アクティブ
32.0	一時停止	任意	非アクティブ
33.0	再生	任意	非アクティブ
34.0	巻き戻し	任意	非アクティブ
35.0	早送り	任意	非アクティブ
36.0	PPV	任意	通常
37.0	文字 A-Z	任意	非アクティブ
38.0	VOD	任意	非アクティブ
39.0	ライブのTVに戻る	任意	通常
40.0	前方へスキップ	任意	非アクティブ
41.0	リプレイ	任意	非アクティブ
42.0	A	任意	非アクティブ
43.0	B	任意	非アクティブ
44.0	C	任意	非アクティブ
45.0	DVR	任意	通常
46.0	スワップ	任意	非アクティブ

【0057】

【表15-1】

表15: 例示的なプレイリストの他のイベント処理

No.	イベント	条件／コメント
-----	------	---------

【0058】

10

20

30

40

【表15-2】

表15:例示的なプレイリストの他のイベント処理

No.	イベント	条件／コメント
1.0	画面タイムアウト	通常
2.0	メモ	通常
3.0	スケジュールされた記録ファイル	通常
4.0	順序付けしたPPVの開始	通常
5.0	PPV購入ウインドウの期限切れ	非アクティブ
6.0	現在のプログラムを終了	通常

10

【0059】

【表16】

表16:例示的なプレイリストのリスト画面／モードエントリ

No.	機能	説明
1.0	ガイドの初期化	VOD機能が利用可能になり次第、プレイリストのリスト画面を利用可能とすることが可能である。
2.0	ハイライト	プレイリストが存在する場合、デフォルトのハイライトを、ページ上の最初のプレイリストとすることが可能である。
2.1	ハイライト	プレイリストが存在しない場合、デフォルトのハイライトを、追加アクションアイコンとすることが可能である。
2.2	ハイライト	ユーザーが、リストセルからアクションアイコンにナビゲートした場合、デフォルトのアクションアイコンを、下矢印アクションアイコンとすることが可能である。
3.0	包含基準を表示	全ての既存のプレイリストを表示する。
4.0	ソート／グループ化基準	プレイリストを、古いものから新しいものへ作成時間順に表示することが可能である。
5.0	カスタム化	オンデマンドアイコンは、MSOで設定可能とすることが可能である。

20

30

30

【0060】

【表17-1】

表17:例示的なプレイリストのリストの画面フォーマッティング

No.	機能	説明
1.0	プログラムのタイトル	非適用
2.0	時間	通常
3.0	チャネル	非適用
4.0	他のテキスト	非適用
5.0	色	通常

40

【0061】

【表17-2】

表17: 例示的なプレイリストのリストの画面フォーマッティング

No.	機能	説明
6.0	インジケータ	非適用
7.0	プランディング	非適用
8.0	オーディオ	通常
9.0	LED	ガイドは、LED上の時間／チャネル表示に対して付録に提供された説明に基づいて、LED上に最後のユーザー チャネルまたは現在の時間を表示することが可能である。

10

図6乃至9は、ユーザーが、プレイリストのリストからプレイリストを選択し、そのプレイリストが1つ以上のプログラムを含むか、またはユーザーが、プレイリスト選択オーバーレイ上の追加アクションアイコンを選択したときに表示されうる、例示的なプログラムを有するプレイリスト画面を示す図である。表18乃至25は、当該の画面の提供に関連して、IPGおよび／またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

【0062】

20

【表18-1】

表18: 例示的なプログラムを有するプレイリストの画面システムの説明

No.	説明
1.0	VODサーバー26は、STBに対して格納された各プレイリストのプレイリストコンテンツを保持することが可能である。
1.1	プレイリストのコンテンツは、あらゆる加入または購入をせずに全てのユーザーに対して無料であるVODプログラムだけを含むことが可能である。
1.2	VODサーバー26は、VODプレイリスト内のVODプログラムの順序を保持することが可能である。
2.0	VODサーバー26は、VODプレイリスト内に、例えば最大24の相異なるVODアセットを含むことが可能である。
3.0	VODサーバー26は、VODプレイリストの順序の中で個々のVODアセットを再配置することが可能である。
4.0	VODサーバー26は、プログラムがそれらのライセンスウィンドウの終わりに達した場合、それらのプログラムを自動的に削除することが可能である。
4.1	VODサーバー26は、定期的な予定を基準に、VODプレイリストから期限切れのプログラムを削除することが可能である。
5.0	VODサーバー26は、プログラムが、プレイリストに包含するための適格基準を満たさなかった場合、VODプレイリストからそれらのプログラムを自動的に削除することが可能である。

30

40

【0063】

【表18-2】

表18: 例示的なプログラムを有するプレイリストの画面システムの説明

No.	説明
5.1	VODサーバー26は、定期的な予定を基準に、VODプレイリストから不適格なプログラムを削除することが可能である。
6.0	VODサーバー26は、STBの代替物を通してプレイリストの仕様を保持および転送することが可能である。
7.0	VODサーバー26は、ユーザーが、VODプレイリストからVODプログラムを削除できるようになることが可能である。 10
8.0	VODサーバー26は、最後にプレイリストが再生されたときから最後の再生位置の記録を保持することが可能である。
8.1	最後の再生箇所を包含するVODプログラムをプレイリストから削除する場合、再生位置をプレイリスト内の次のアセットの先頭に移動することが可能である。
8.2	最後の再生箇所を包含するVODプログラムがプレイリストから削除され、それがプレイリスト内の最後のアセットであった場合、再生位置をそのプレイリストの先頭に移動することが可能である。 20
9.0	VODサーバー26は、最初からVODプレイリストを再生することが可能である。
10.0	VODサーバー26は、最後の再生箇所からVODプレイリストを再生することが可能である。
11.0	VODサーバー26は、プログラムを有するプレイリスト画面内のページを前後して、プレイリスト内の更なるプログラムリストページを見られるようにすることが可能である。

【0064】

【表19-1】

表19: 例示的なプログラムを有するプレイリスト画面の概要 30

No.	説明
1.0	プログラム画面を有するプレイリストは、以下を含むことが可能である。 ・画面ヘッダー領域 ・瞬間的情報領域 ・プレイリスト順序領域 ・アクションアイコン領域
2.0	プレイリスト順序領域は、以下を含むことが可能である。 ・順序番号カラム ・プログラムタイトルカラム ・削除チェックボックスカラム 40
2.1	プレイリスト順序領域内の各々のカラムは、ヘッダー行を有することが可能である。

【0065】

【表19-2】

表19: 例示的なプログラムを有するプレイリスト画面の概要

No.	説明
2.1.1	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、順序番号カラムのヘッダー行内に中央寄せで、「整列」というタイトル文字を白色で表示する。
2.1.2	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、プログラムタイトルカラムのヘッダー行内に左寄せで、「プログラムのタイトル」というタイトル文字を白色で表示する。
2.1.3	ガイドは、削除チェックボックスカラムのヘッダー行内に左寄せで、「チェックされた」状態のチェックボックスを表示することが可能である。
3.0	ユーザーがプレイリストを再生する場合、VODサーバー26から利用可能でなくなったプレイリスト内のあらゆるプログラムを、ユーザーに通知せずにスキップすることが可能である ¹ 。
4.0	ユーザーがプレイリストを再生する場合、あらゆる加入または購入をせずに全てのユーザーに対して無料ではなくなりたったプレイリスト内のあらゆるプログラムを、ユーザーに通知せずにスキップすることが可能である ² 。
5.0	プレイリスト順序領域内の相異なる行のそれぞれは、プレイリスト内の相異なるプログラムを示すことが可能である。
5.1	順序番号カラム内のセルは、プレイリスト順序領域内の特定の行で、プログラムの順序番号を中央寄せで黒色の文字で含むことが可能である。
5.2	プログラムタイトルカラム内のセルは、プレイリスト順序領域内の特定の行で、完全なプログラムタイトルを左寄せで白色の文字で含むことが可能である。
5.3	削除チェックボックスカラム内のセルは、プレイリスト順序領域内の特定の行で、チェックボックスを左寄せでチェックまたは未チェックの状態のいずれかで含むことが可能である。
5.3.1	削除チェックボックスカラム内の全てのチェックボックスのデフォルト状態は、未チェックとすることが可能である。

¹ VODサーバー26は、当該のプログラムを自動的に削除することが可能であるが、当該のプログラムを含むプログラムは、削除が実行される前に再生することが可能である。

40

² VODサーバー26は、当該のプログラムを自動的に削除することが可能であるが、当該のプログラムを含むプログラムは、削除が実行される前に再生することが可能である。

【表20】

表20: 例示的なプログラムを有するプレイリスト画面の瞬間的情報

No.	ライン	フォーマット	説明
1.0	1	左寄せ	プレイリスト名を黄色で表示する。
1.1	1	右寄せ	ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「<数>個のプログラムがあります」という文字が白色で表示される。ここで、<数>は、プレイリスト内のプログラム数である。
2.0	2	左寄せ	プレイリストのランタイム(プレイリスト内の全てのプログラムの合計ランタイム)。
3.0	3	左寄せ	順序カラム内の行がハイライトされた場合、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「リモコンの<上／下矢印>を押して、プレイリストの順序を変更する。」という文字が白色の文字で表示される。
3.1	3	左寄せ	プログラムタイトルがハイライトされた場合、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「<左矢印>を押してプログラムを再整列するか、<右矢印>を押してプログラムを削除する。」という文字が白色で表示される。
3.2	3	左寄せ	チェックマークカラム内の行がハイライトされた場合、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「<ボックスシンボル>に<チェックマーク>を付け、次いで<Xシンボル>を選択してプログラムを削除する。」という文字が白色で表示される。

10

20

【0067】

【表21-1】

30

表21: 例示的なプログラムを有するプレイリスト画面のアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
1.0	最後	常に表示	それが表示された画面を表示する。
2.0	再開	常に表示	VODサーバー26にリクエストを送信して、サーバーが、プレイリスト内の最後の再生位置で再生を始めるように命令する。
2.1	再開	常に表示	プレイリスト内の最後の再生位置が、トリックモードの利用可能でないVODプログラムである場合、VODサーバー26は、そのVODプログラムの先頭で再生を再開することが可能である。

40

【0068】

【表21-2】

表21: 例示的なプログラムを有するプレイリスト画面のアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
3.0	再開	常に表示	VODサーバー26にリクエストを送信して、サーバーが、プレイリストの先頭で再生を始めるように命令する。
4.0	下矢印	常に表示	次のページがあれば、プレイリスト内のVODプログラムの次のページを表示する。
4.1	下矢印	常に表示	次のページがなければ非アクティブとする。
5.0	キーボード	常に表示	プレイリストキーボードオーバーレイを表示する。
6.0	検索	常に表示	プレイリスト検索画面を表示する。
7.0	ロック	常に表示	プレイリストロックオーバーレイを表示する。
8.0	削除	常に表示	プレイリスト削除オプションオーバーレイを表示する。

【0069】

【表22-1】

10

表22: 例示的なプログラムを有するプレイリストの画面入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
1.0	電源	任意	通常
2.0	音量上げ	任意	通常
3.0	音量下げ	任意	通常
4.0	ミュート	任意	通常
5.0	チャネル上げ	任意	通常
6.0	チャネル下げ	任意	通常
7.0	バイパス	任意	通常
8.0	メニュー	任意	通常
9.0	ガイド	任意	通常
10.0	音楽	任意	通常
11.0	テーマ	任意	通常
12.0	検索	任意	通常

20

30

40

【0070】

【表22-2】

表22: 例示的なプログラムを有するプレイリストの画面入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作	
13.0	設定	任意	通常	
14.0	終了	任意	通常	
15.0	最後	任意	通常	
16.0	右矢印	順序番号カラム	ガイドは、同じ行の中でプログラムタイトルカラムへハイライトを移動することが可能である。	10
16.1	右矢印	プログラムタイトルカラム	ガイドは、同じ行の中で削除チェックボックスカラムへハイライトを移動することが可能である。	
16.2	右矢印	削除チェックボックスカラム	非アクティブ	
16.3	右矢印	最右端以外の任意のアクションアイコン	通常	20
16.4	右矢印	最右端のアクションアイコン	ガイドは、最左端のアクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。	
17.0	左矢印	順序番号カラム	非アクティブ	
17.1	左矢印	プログラムタイトルカラム	ガイドは、同じ行の中で順序番号カラムへハイライトを移動することが可能である。	
17.2	左矢印	削除チェックボックスカラム	ガイドは、同じ行の中でプログラムタイトルカラムへハイライトを移動することが可能である。	30
17.3	左矢印	最左端以外の任意のアクションアイコン	通常	
17.4	左矢印	最左端のアクションアイコン	ガイドは、最右端のアクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。	
18.0	上矢印	プレイリスト順序領域内の最上列、最初のページ	非アクティブ	
18.1	上矢印	プレイリスト順序領域内の最上列以外の任意の行、順序番号カラム以外の任意のカラム	ガイドは、同じカラム内の次に高位の行へハイライトを移動することが可能である。	40

【0071】

【表 2 2 - 3】

表22: 例示的なプログラムを有するプレイリストの画面入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
18.2	上矢印	プレイリスト順序領域内、順序番号カラムの最上列以外の任意の行	ガイドは、VODサーバー26にリクエストを送信して、現在ハイライトされているプログラムをプレイリスト順序内の1つ上に移動させて、プレイリスト順序領域の表示をリフレッシュすることが可能である。
18.3	上矢印	プレイリスト順序領域内の最上列、順序番号カラム以外の任意のカラム、最初以外の任意のページ	ガイドは、前のページを表示して、同じカラム内の最下行をハイライトすることが可能である。
18.4	上矢印	プレイリスト順序領域内の最上列、順序番号カラム、最初以外の任意のページ	ガイドは、VODサーバー26にリクエストを送信して、現在ハイライトされているプログラムをプレイリスト順序内の1つ上に移動させて、前のページを表示して同じカラム内の最下行をハイライトすることが可能である。
18.5	上矢印	任意のアクションアイコン	ガイドは、プレイリスト順序領域の最下行、プログラムタイトルカラムをハイライトすることが可能である。
19.0	下矢印	プレイリスト順序領域内の最下行、最後のページ	非アクティブ
19.1	下矢印	プレイリスト順序領域内の最下行以外の任意の行、順序番号カラム以外の任意のカラム	ガイドは、同じカラム内の次の下位行へハイライトを移動することが可能である。

【 0 0 7 2 】

【表 2 2 - 4】

表22: 例示的なプログラムを有するプレイリストの画面入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
19.2	下矢印	プレイリスト順序領域内の最下行以外の任意の行、順序番号カラム	ガイドは、VODサーバー26にリクエストを送信して、現在ハイライトされているプログラムをプレイリスト順序内の1つ下に移動させて、プレイリスト順序領域の表示をリフレッシュすることが可能である。
19.3	下矢印	プレイリスト順序領域内の最下行、順序番号カラム以外の任意のカラム、最後以外の任意のページ	ガイドは、次のページを表示して、同じカラム内の最上列をハイライトすることが可能である。
19.4	下矢印	プレイリスト順序領域内の最下行、順序番号カラム、最後以外の任意のページ	ガイドは、VODサーバー26にリクエストを送信して、現在ハイライトされているプログラムをプレイリスト順序内の1つ下に移動させて、次のページを表示して同じカラム内の最上行をハイライトすることが可能である。
19.5	下矢印	下矢印アクションアイコン以外の任意のアクションアイコン	非アクティブ
19.6	下矢印	下矢印アクションアイコン、最後以外の任意のページ	ガイドは、次のページを表示して、同じカラム内の最上列をハイライトすることが可能である。
19.7	下矢印	下矢印アクションアイコン、最後のページ	非アクティブ
20.0	OK	任意のアクションアイコン	表21を参照のこと。
20.1	OK	プログラムタイトルカラム	ガイドは、ハイライトされたプログラムのためのVODプログラム情報画面を表示することが可能である。
20.2	OK	順序番号カラム	非アクティブ

【 0 0 7 3 】

10

20

30

40

【表 2 2 - 5】

表22: 例示的なプログラムを有するプレイリストの画面入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
20.3	OK	削除チェックボックスカラム	ガイドは、現在の行上のチェックボックス内で、チェック記号のオンまたはオフをトグルすることが可能である。
21.0	数字 0-9	任意	通常
22.0	上へスクロール	最初以外の任意のページ	ガイドは、前のページで、同じカラム内の最上列をハイライトすることが可能である。
22.0	上へスクロール	最初のページ	非アクティブ
23.0	下へスクロール	最後以外の任意のページ	ガイドは、次のページで、同じカラム内の最上列をハイライトすることが可能である。
23.0	下へスクロール	最後のページ	非アクティブ
24.0	一日進める	任意	非アクティブ
25.0	一日戻す	任意	非アクティブ
26.0	ヘルプ	任意	非アクティブ
27.0	情報	プログラムタイトルカラム	ガイドは、ハイライトされたプログラムのためのVODプログラム情報画面を表示することが可能である。
27.1	情報	プレイリスト順序領域、プログラムタイトルカラム以外の任意のカラム	非アクティブ
27.2	情報	任意のアクションアイコン	非アクティブ
28.0	お気に入り	任意	非アクティブ
29.0	ロック	任意	プレイリストロックオーバーレイを表示する
30.0	記録	任意	非アクティブ
31.0	停止	任意	非アクティブ
32.0	一時停止	任意	非アクティブ
33.0	再生	任意	非アクティブ
34.0	巻き戻し	任意	非アクティブ

【 0 0 7 4 】

【表22-6】

表22: 例示的なプログラムを有するプレイリストの画面入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
35.0	早送り	任意	非アクティブ
36.0	PPV	任意	通常
37.0	文字 A-Z	任意	非アクティブ
38.0	VOD	任意	非アクティブ
39.0	ライブのTVに戻る	任意	非アクティブ
40.0	前方へスキップ	任意	非アクティブ
41.0	リプレイ	任意	非アクティブ
42.0	A	任意	非アクティブ
43.0	B	任意	非アクティブ
44.0	C	任意	非アクティブ
45.0	デジタル記録	任意	通常
46.0	スワップ	任意	非アクティブ

10

20

【0075】

【表23】

表23: 例示的なプログラムを有するプレイリスト画面の他のイベント処理

30

No.	イベント	条件／コメント
1.0	画面タイムアウト	通常
2.0	メモ	通常
3.0	スケジュールされた記録ファイル	通常
4.0	順序付けしたPPVの開始	通常
5.0	PPV購入ウィンドウの期限切れ	非アクティブ
6.0	現在のプログラムを終了	通常
7.0	データベースへのデータの追加、削除、または変更	通常

40

【0076】

【表24】

表24: 例示的なプログラムを有するプレイリストの画面／モードエントリ

No.	機能	説明
1.0	ガイドの初期化	プレイリスト画面—VOD機能が利用可能になり次第、Not Emptyとすることが可能である。
2.0	ハイライト	デフォルトのハイライトを、プレイリスト内の最初のリストに置くことが可能である。
3.0	包含基準を表示	プレイリスト内の全てのVODプログラムを表示する。
4.0	ソート／グループ化基準	プレイリスト内のプログラムは、VODデータで指定されているように順序付けることが可能である。
4.1	ソート／グループ化基準	プログラムは、それらが追加されたときに、デフォルトでプレイリストの最後に配置することが可能である。
4.2	ソート／グループ化基準	プレイリスト内のプログラムの再順序付けは、表22内の矢印キー説明を参照のこと。
5.0	カスタム化	オンデマンドアイコンは、MSOで設定可能とすることが可能である。
6.0	他のエントリアクション	非適用

10

20

【0077】

【表25】

表25: 例示的なプログラムを有するプレイリストの画面フォーマッティング

No.	機能	説明
1.0	プログラムのタイトル	通常
2.0	時間	通常
3.0	チャネル	非適用
4.0	他のテキスト	非適用
5.0	色	通常
6.0	インジケータ	非適用
7.0	ブランディング	非適用
8.0	オーディオ	通常
9.0	LED	通常

30

40

図10は、例示的なキーボードオーバーレイを示す図である。表26および27は、当該のオーバーレイの提供に関する、I P Gおよび／またはV O D サーバー26の例示的な動作を記述したものである。

【0078】

【表 26 - 1】

表26: 例示的なプレイリストキー ボードオーバーレイの概要

No.	説明	
1.0	ガイドは、相異なるVODプレイリストを命名するために、オンスクリーンのプレイリストキー ボードオーバーレイを提供することが可能である。	
1.1	プレイリストキー ボードオーバーレイは、キーボード構成要素および文字列入力フィールドを含むことが可能である。	10
2.0	キーボード構成要素は、文字列入力フィールド内の大文字の英語のアルファベット、数字0乃至9、および空白文字の全ての入力を容易にすることが可能である。	
2.1	文字列入力フィールドによって、ユーザーは、文字列を入力したときにその文字を見ることが可能である。	
2.1.1	文字の入力は、左から右に順次的とすることが可能である。	
2.1.2	文字入力位置を、文字列入力フィールド内の最右端の文字の後ろに保持することが可能である。	
2.1.3	文字入力位置を、文字入力カーソルによって示すことが可能である。	20
2.2	キーボード構成要素は、削除(Delete)／バックスペース(Backspace)を選択できるアイテムを介して、文字列入力フィールド内の最右端の文字の削除を容易にすることが可能である。	
2.3	キーボード構成要素によって、文字列入力フィールド内に、例えば最大25文字入力できるようにすることが可能である。	
2.3.1	文字入力カーソルと合わせた文字数が文字列入力フィールドの表示容量を超えた場合、文字入力カーソルを文字列入力フィールドの右端に保持する必要があるため、1つ以上の最左端の文字を、文字列入力フィールドの左端を越えてシフトすることが可能である。	
2.3.2	いずれかの文字が、文字列入力フィールドの左端を越えてシフトされたままであり、ユーザーが、削除(Delete)／バックスペース(Backspace)キーを使用して最右端の文字を削除した場合、文字入力カーソルの位置が、文字列入力フィールドの右端に保持することが可能であれば、1つ以上の最初の文字を、表示される文字列入力フィールドに戻すようにシフトすることが可能である。	30
2.3.3	文字列入力フィールドの左端を越えてシフトされたままの文字がなく、ユーザーが、削除(Delete)／バックスペース(Backspace)キーを使用して最右端の文字を削除した場合、文字を文字列入力フィールドに固定したままとし、文字入力カーソルを左に移動することが可能である。	
3.0	キーボード構成要素内の空白文字のオプションに、白色で「Sp」という文字を含むことが可能である。	40
4.0	キーボード構成要素の削除(Delete)／バックスペース(Backspace)のオプションに、白色で「Del」という文字を含むことが可能である。	

【0079】

【表 2 6 - 2】

表26:例示的なプレイリストキーボードオーバーレイの概要

No.	説明
5.0	キーボード構成要素の保存のオプションに、白色で「保存(Save)」という文字を含むことが可能である。
5.1	「保存(Save)」を選択可能なアイテムは、文字列入力フィールドに非空白文字が入力されていない場合に、灰色にすることが可能である。
6.0	入力時のデフォルトのハイライトは、キーボード構成要素の文字「A」とすることが可能である。
7.0	文字列入力領域は、入力時に空とすることが可能である。

10

【0080】

【表 2 7 - 1】

表27:例示的なプレイリストのキーボードオーバーレイの入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
1.0	電源	任意	通常
2.0	音量上げ	任意	通常
3.0	音量下げ	任意	通常
4.0	ミュート	任意	通常
5.0	チャンネル 上げ	任意	通常
6.0	チャンネル 下げ	任意	通常
7.0	バイパス	任意	通常
8.0	メニュー	任意	通常
9.0	ガイド	任意	通常
10.0	音楽	任意	通常
11.0	テーマ	任意	通常
12.0	検索	任意	通常
13.0	設定	任意	非アクティブ
14.0	終了	任意	通常
15.0	最後	任意	ガイドは、プレイリストのキーボードオーバーレイを閉じて、アクセスされた画面を再表示することが可能である。

20

30

40

【0081】

【表 27 - 2】

表27: 例示的なプレイリストのキーボードオーバーレイの入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作	
16.0	右矢印	最右端のキーを除くキーボード構成要素内のどこか。	キーボード構成要素内で、右側の次のキーにハイライトを移動する。	
16.1	右矢印	キーボード構成要素または文字列入力フィールド内の最右端のキー	非アクティブ	10
17.0	左矢印	最左端のキーを除くキーボード構成要素内のどこか。	キーボード構成要素内で、左側の次のキーにハイライトを移動する。	
17.1	左矢印	キーボード構成要素または文字列入力フィールド内の最左端のキー	非アクティブ	20
18.0	上矢印	キーボード構成要素内の英数字キー、最上列を含まない。	キーボード構成要素内の次の高位のキーにハイライトを移動する。	
18.1	上矢印	キーボード構成要素内の「A」または「B」キー。	「削除(Delete)」オプションにハイライトを移動する。	
18.2	上矢印	キーボード構成要素内の「C」または「D」キー。	「スペースバー(Spacebar)」オプションにハイライトを移動する。	30
18.3	上矢印	キーボード構成要素内の「E」または「F」キー。	「保存(Save)」オプションにハイライトを移動する。	
18.4	上矢印	キーボード構成要素内の削除、空白、または保存オプション。	文字列入力フィールドにハイライトを移動する。	
18.5	上矢印	文字列入力フィールド	非アクティブ	40

【0082】

【表 27 - 3】

表27:例示的なプレイリストのキーボードオーバーレイの入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
19.0	下矢印	文字列入力フィールド	「削除(Delete)」オプションへハイライトを移動する。
19.1	下矢印	キーボード構成要素内の削除オプション。	キーボード構成要素内の「A」キーにハイライトを移動する。
19.2	下矢印	キーボード構成要素内の空白オプション。	キーボード構成要素内の「C」キーにハイライトを移動する。
19.3	下矢印	キーボード構成要素内の保存オプション。	キーボード構成要素内の「E」キーにハイライトを移動する。
19.4	下矢印	キーボード構成要素内の英数字キー、最下行を含まない。	キーボード構成要素内の次の下位キーにハイライトを移動する。
19.5	下矢印	キーボード構成要素内の英数字キーの最下行	非アクティブ
20.0	OK	文字列入力フィールド、文字列は少なくとも1つの非空白文字を含む。	ガイドは、文字列入力フィールド内の文字列を使用して、現在のお気に入りリストの名前を変えること、プレイリストキーボードオーバーレイを閉じること、およびアクセスされた画面を再表示することが可能である。
20.1	OK	文字列入力フィールド、文字列は非空白文字を含む。	非アクティブ
20.2	OK	キーボード構成要素内の任意の英数字キーまたはスペースキー	例えば25文字より少ない文字が入力された場合、対応する文字を文字列に追加して、必要に応じて文字列入力フィールドをシフトする。

10

20

30

40

【 0 0 8 3 】

【表 27 - 4】

表27: 例示的なプレイリストのキーボードオーバーレイの入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
20.2.1	OK	キーボード構成要素 内の任意の英数字 キーまたはスペース キー	25文字入力された場合は非アクティブ。
20.4	OK	キーボード構成要素 内の削除(Delete) ／バックスペース(b ackspace)キー	検索文字列入力フィールド内の最右端の検索文字を 削除し、必要に応じて検索文字列入力フィールド表示 をシフトする。
20.4.1	OK	キーボード構成要素 内の削除(Delete) ／バックスペース(b ackspace)キー	文字列入力フィールド内に文字がない場合は非アクテ ィブ
20.5	OK	キーボード構成要素 内の「保存」オプショ ン、文字列は少なくとも 1つの非空白文字を含む。	ガイドは、文字列入力フィールド内の文字列を使用して 、現在のお気に入りリストの名前を変えること、プレイリ ストキーボードオーバーレイを閉じること、およびアクセ スされた画面を再表示することが可能である。
20.6	OK	キーボード構成要素 内の「保存」オプショ ン、文字列は非空白 文字を含まない。	非アクティブ
21.0	数字 0-9	任意	例えば25文字より少ない文字が入力された場合、対 応する数の文字を文字列に追加して、必要に応じて文 字列入力フィールドをシフトする。
21.1	数字 0-9	任意	例えば25文字入力された場合は非アクティブ。
22.0	上へ スクロール	任意	非アクティブ
23.0	下へ スクロール	任意	非アクティブ
24.0	一日進める	任意	非アクティブ
25.0	一日戻す	任意	非アクティブ
26.0	ヘルプ	任意	非アクティブ

10

20

30

40

【 0 0 8 4 】

【表27-5】

表27: 例示的なプレイリストのキーボードオーバーレイの入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
27.0	情報	任意	非アクティブ
28.0	お気に入り	任意	非アクティブ
29.0	ロック	任意	非アクティブ
30.0	記録	任意	非アクティブ
31.0	停止	任意	非アクティブ
32.0	一時停止	任意	非アクティブ
33.0	再生	任意	非アクティブ
34.0	巻き戻し	任意	非アクティブ
35.0	早送り	任意	非アクティブ
36.0	PPV	任意	通常
37.0	文字 A-Z	任意	例えば25文字より少ない文字が入力された場合、対応する文字を文字列に追加して、必要に応じて文字列入力フィールドをシフトする。
37.1	文字 A-Z	任意	例えば25文字入力された場合は非アクティブ。
38.0	VOD	任意	通常
39.0	ライブのTVに戻る	任意	通常
40.0	前方へスキップ	任意	非アクティブ
41.0	リプレイ	任意	非アクティブ
42.0	A	任意	非アクティブ
43.0	B	任意	非アクティブ
44.0	C	任意	非アクティブ
45.0	デジタル記録	任意	通常
46.0	スワップ	任意	非アクティブ

10

20

30

40

図11は、ユーザーが、VODプログラム情報画面上のプレイリストへの追加アイコンを選択したときに表示される例示的なプレイリスト選択オーバーレイを示す図である。ユーザーは、プログラムが追加されるプレイリストを選択する。表28乃至34は、当該のオーバーレイの提供に関連して、IPGおよび/またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

【0085】

【表28】

表28: 例示的なプレイリスト選択オーバーレイのシステムの説明

No.	説明
1.0	VODサーバー26は、相異なるSTBのそれぞれに対するプレイリストのリストを保持することが可能である。
1.1	プレイリストのリストは、プレイリストが作成された日時に基づいて、最近作成されたものから順に順序付けすることが可能である。
2.0	ガイドが、プレイリストのリストを要求したとき、および2つ以上のプレイリストが作成されていた場合、VODサーバー26は、ガイドにプレイリストを提供することが可能である。
2.1	VODサーバー26は、プレイリスト選択オーバーレイ内のページを移動することで、更なるプレイリストのリストのページを表示できる。
3.0	VODサーバー26は、ガイドからのリクエスト応えて、新しいプレイリストを追加する。
3.1	VODサーバー26は、STBごとに例えば最大24のプレイリストを作成することが可能である。
3.2	VODサーバー26は、リクエストが新しいプレイリストを追加するものであるが、STBに対するプレイリストの最大数に達している場合は、ガイドにエラーを通信することが可能である。
4.0	VODサーバー26は、ガイドからのリクエスト応えて、既存のプレイリストにVODプログラムを追加する。
4.1	VODサーバー26は、VODプレイリストごとに最大24のプログラムを含むことが可能である。
4.2	VODサーバー26は、リクエストが新しいプレイリストを追加するものであり、選択されたプレイリストに対するプログラムの最大数に達している場合は、ガイドにエラーを通信することが可能である。

10

20

30

【0086】

【表29-1】

表29: 例示的なプレイリスト選択オーバーレイの概要

No.	説明
1.0	ガイドは、ユーザーが、VODプログラム情報画面上のプレイリストへのビデオ追加アイコンを選択したときに、プレイリスト選択オーバーレイを表示することが可能である。

【0087】

【表29-2】

表29:例示的なプレイリスト選択オーバーレイの概要

No.	説明
2.0	プレイリスト選択オーバーレイは、以下を含むことが可能である。 ・オーバーレイタイトル領域 ・プレイリストリスト領域 ・アクションアイコン領域
3.0	プレイリスト選択オーバーレイのタイトルは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、オーバーレイタイトル領域内の中央に、黄色の文字で「このプログラムを追加するプレイリストを選択。」とすることが可能である。
4.0	プレイリストリスト領域は、ヘッダー行およびプレイリストの縦型リストを含むことが可能である。
4.1	ヘッダー行は、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「プレイリスト」という白色の文字が後ろに続く、左揃えのプレイリストアイコンを含むことが可能である。
4.2	プレイリストの縦型リスト内の各リストセルは、左揃えで、白色の文字でプレイリスト名を含むことが可能である。
5.0	プレイリストが作成されていない場合、プレイリストの縦型リストは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、黄色の文字の「プレイリストが作成されていません」を含むことが可能である。

10

20

【0088】

【表30-1】

表30:例示的なプレイリスト選択オーバーレイのアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
1.0	最後	常に表示	それが表示された画面を表示する。
2.0	下矢印	常に表示	VODプレイリストの次のページを表示する。
2.1	下矢印	常に表示	現在のページが最後または唯一のページである場合は非アクティブ。
3.0	新しいプレイリスト	常に表示	プレイリストの最大数に達していない場合、ガイドは、VODサーバー26にリクエストを送信して、新しいプレイリストを作成し、「プレイリスト<プレイリストの命名にまだ使用されていない最小の正整数>」の形態でデフォルトのプレイリスト名を割り当て、唯一のアセットとして下層のVODプログラム情報画面からのVODプログラムを有する。

30

40

【0089】

【表30-2】

表30: 例示的なプレイリスト選択オーバーレイのアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
			新しいプレイリストのためのプログラム画面を有するプレイリストを表示する。
3.1	新しいプレイリスト	常に表示	プレイリストの最大数に達した場合、ガイドは、最大プレイリスト数通知を表示することが可能である。

10

【0090】

【表31-1】

表31: 例示的なプレイリスト選択オーバーレイの入力キー処理

No.	キー	画面オーフォーカス	動作
1.0	電源	任意	通常
2.0	音量上げ	任意	通常
3.0	音量下げ	任意	通常
4.0	ミュート	任意	通常
5.0	チャネル上げ	任意	通常
6.0	チャネル下げ	任意	通常
7.0	バイパス	任意	通常
8.0	メニュー	任意	通常
9.0	ガイド	任意	通常
10.0	音楽	任意	通常
11.0	テーマ	任意	通常
12.0	検索	任意	通常
13.0	設定	任意	通常
14.0	終了	任意	通常
15.0	最後	任意	通常
16.0	右矢印	任意のリストセル	非アクティブ
16.1	右矢印	最右端以外の任意のアクションアイコン	通常

20

30

40

【0091】

【表31-2】

表31: 例示的なプレイリスト選択オーバーレイの入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
16.2	右矢印	最右端のアクションアイコン	ガイドは、最左端のアクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。
17.0	左矢印	任意のリストセル	非アクティブ
17.1	左矢印	最左端以外の任意のアクションアイコン	通常
17.2	左矢印	最左端のアクションアイコン	ガイドは、最右端のアクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。
18.0	上矢印	最初のページ上の最上のリストセル	非アクティブ
18.1	上矢印	ページの最上以外の任意のリストセル	ガイドは、次の高位のリストセルにハイライトを移動することが可能である。
18.2	上矢印	最初以外の任意のページ上の最上のリストセル	ガイドは、前のページを表示して、最下のリストセルをハイライトすることが可能である。
18.3	上矢印	任意のアクションアイコン	ガイドは、ページ上の最下のリストセルをハイライトすることが可能である。
19.0	下矢印	ページ上の最下以外の任意のリストセル	ガイドは、次の下位のリストセルにハイライトを移動することが可能である。
19.1	下矢印	最下のリストセル	ガイドは、下矢印アクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。
19.2	下矢印	下矢印アクションアイコン	ガイドは、リストの次のページを表示して、最上のリストセルをハイライトすることが可能である。
19.3	下矢印	下矢印以外の任意のアクションアイコン	非アクティブ
20.0	OK	任意のアクションアイコン	表30を参照のこと。
20.1	OK	任意のリストセル	VODサーバー26にリクエストを送信して、下層のVODプログラム情報画面から選択されたプレイリストへプログラムを追加する。成功したら、プレイリスト選択オーバーレイを取り下げて追加済みプログラムオーバーレイを表示する。
20.2	OK	任意のリストセル	VODサーバー26にリクエストを送信して、下層のVODプログラム情報画面から選択されたプレイリストへプログラムを追加する。

10

20

30

40

【0092】

【表31-3】

表31: 例示的なプレイリスト選択オーバーレイの入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
			プレイリストがプログラムの最大数に達した場合、プレイリスト選択オーバーレイを通じて、最大プログラム数の通知を表示する。
21.0	数字 0-9	任意	通常
22.0	上へスクロール	任意	通常
23.0	下にスクロール	任意	通常
24.0	一日進める	任意	非アクティブ
25.0	一日戻す	任意	非アクティブ
26.0	ヘルプ	任意	非アクティブ
27.0	情報	任意のリストセル	ガイドは、ハイライトされたプレイリストのためのプレイリスト情報画面を表示することが可能である。
27.1	情報	任意のアクションアイコン	非アクティブ
28.0	お気に入り	任意	非アクティブ
29.0	ロック	任意	非アクティブ
30.0	記録	任意	非アクティブ
31.0	停止	任意	非アクティブ
32.0	一時停止	任意	非アクティブ
33.0	再生	任意	非アクティブ
34.0	巻き戻し	任意	非アクティブ
35.0	早送り	任意	非アクティブ
36.0	PPV	任意	通常
37.0	文字 A-Z	任意	非アクティブ
38.0	VOD	任意	非アクティブ
39.0	ライブのTVに戻る	任意	非アクティブ
40.0	前方へスキップ	任意	非アクティブ

10

20

30

40

【0093】

【表31-4】

表31: 例示的なプレイリスト選択オーバーレイの入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
41.0	リプレイ	任意	非アクティブ
42.0	A	任意	非アクティブ
43.0	B	任意	非アクティブ
44.0	C	任意	非アクティブ
45.0	デジタル記録	任意	通常
46.0	スワップ	任意	非アクティブ

10

【0094】

【表32】

表32: 例示的なプレイリスト選択オーバーレイの他のイベント処理

No.	イベント	条件/コメント
1.0	画面タイムアウト	通常
2.0	メモ	通常
3.0	スケジュールされた記録ファイル	通常
4.0	順序付けしたPPVの開始	通常
5.0	PPV購入ウィンドウの期限切れ	非アクティブ
6.0	現在のプログラムを終了	通常
7.0	データベースへのデータの追加、削除、または変更	通常

20

30

【0095】

【表33-1】

表33: 例示的なプレイリスト選択オーバーレイ画面／モードエントリ

No.	機能	説明
1.0	ガイドの初期化	VOD機能が利用可能になり次第、プレイリスト選択オーバーレイを利用可能とすることができる。
2.0	ハイライト	デフォルトのハイライトを、リスト内の最初のプレイリストに置くことができる。
2.1	ハイライト	プレイリストが作成されていない場合、デフォルトのハイライトを、「プレイリストの追加」アクションアイコンに置くことができる。
3.0	包含基準を表示	全ての既存のプレイリストを表示する。

40

【0096】

【表33-2】

表33: 例示的なプレイリスト選択オーバーレイ画面／モードエントリ

No.	機能	説明
4.0	ソート／グループ化基準	プレイリストを、古いものから新しいものへ作成時間順に表示することが可能である。
5.0	カスタム化	オンデマンドアイコンは、MSOで設定可能とすることが可能である。
6.0	他のエントリアクション	非適用
7.0	VODプログラムコンテキスト	ガイドは、下層のVODプログラム情報画面からのVODプログラムのコンテキストを保持することが可能である。

10

【0097】

【表34】

表34: 例示的なプレイリスト選択オーバーレイの画面フォーマッティング

No.	機能	説明
1.0	プログラムのタイトル	非適用
2.0	時間	通常
3.0	チャネル	非適用
4.0	他のテキスト	非適用
5.0	色	通常
6.0	インジケータ	非適用
7.0	プランディング	非適用
8.0	オーディオ	通常
9.0	LED	通常

20

30

図12は、例示的な最大プレイリスト数オーバーレイを示す。最大プレイリスト数オーバーレイは、最大数のプレイリスト（例、24）が作成され、ユーザーが、新しいプレイリストの追加をリクエストしたときに表示することが可能である。表35は、当該のオーバーレイの提供に関連して、IPGおよび／またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

【0098】

【表 3 5】

表35: 例示的な最大プレイリストオーバーレイの概要

No.	説明
1.0	本オーバーレイは、ユーザーが、プレイリストのリスト画面またはプレイリスト選択オーバーレイ上の新しいプレイリストアイコンを選択し、最大数24のプレイリストをすでに作成したときに表示することが可能である。
1.0	最大プレイリスト数オーバーレイは、オーバーレイの最上部に作成された「最大数のプレイリストが作成されました」という黄色の文字のタイトルが後ろに続く、プレイリストアイコンを含むことが可能である。 10
2.0	最大プレイリスト数オーバーレイは、言語設定時にユーザーが定義した言語で、タイトルの下に作成される、「プレイリストの最大数に達しています。既存のプレイリストを削除して続けてください。」という白色の文字を含むことが可能である。
3.0	全てのキーの押下は、付録内の通知オーバーレイに対する共通の入力キー処理の定義に従うことが可能である。
4.0	最大プレイリスト数オーバーレイは、付録内の通知オーバーレイに対する共通の他のイベント処理の定義に従うことが可能である。

20

図 1 3 は、例示的な最大プログラム数通知を示す。本通知は、ユーザーが、すでに最大数のプログラムを含むプレイリストに、プログラムを追加しようとしたときに表示することが可能である。表 3 6 は、当該のオーバーレイの提供に関連して、I P G および / または V O D サーバー 2 6 の例示的な動作を記述したものである。

【0099】

【表 3 6】

表36: 例示的な最大プログラム通知の概要

No.	説明
1.0	本通知は、ユーザーが、プレイリスト選択オーバーレイからプレイリストを選択した、または、プレイリストの検索画面内で「プログラムをトグル」しようとしたが、プレイリストがすでに最大数(例、24)のプログラムを含んでいるときに表示することが可能である。 30
2.0	通知テキストは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「このプレイリストにはこれ以上プログラムを追加できません。」という文字を黄色で表示することが可能である。
3.0	本通知は、本節において指定された場合を除いて、通知オーバーレイの画面に対して定義されたような説明に従うことが可能である。

40

図 1 4 は、例示的な追加済みプログラムオーバーレイを示す図である。追加済みプログラムオーバーレイは、ガイドが、プレイリストへのプログラムの追加に成功したときに表示することが可能である。表 3 7 および 3 8 は、当該のオーバーレイの提供に関連して、I P G および / または V O D サーバー 2 6 の例示的な動作を記述したものである。

【0100】

【表37】

表37: 例示的な追加済みプログラムオーバーレイの概要

No.	説明
1.0	追加済みプログラムオーバーレイのタイトルは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、黄色で「追加済みプログラム」と表示することが可能である。
1.1	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、追加済みプログラム「このプログラムは、以下のプレイリストに追加されています。」という文字を白色でオーバーレイ上に表示することが可能である。
2.0	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「確認」というラベルを有するOK／Yesアイコンをオーバーレイ上に表示することが可能である。
2.1	ハイライトされた「Confirm」オプションとともにOKキーを押したとき、ガイドはオーバーレイを閉じる。
3.0	追加済みプログラムオーバーレイ上のデフォルトのハイライトを、確認アイコンに置くことが可能である。
4.0	本願明細書に定める場合を除いて、本オーバーレイは、付録内の單一アクションオーバーレイに対する説明に従うことが可能である。

10

20

【0101】

【表38】

表38: 例示的なプログラムを有するプレイリスト画面の瞬間的情報

No.	ライン	フォーマット	説明
1.0	1	左寄せ	黄色で表示されるプレイリスト名
1.1	1	右寄せ	ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「<数>個のプログラムがあります」という文字が白色で表示される。ここで、<数>は、プレイリスト内のプログラム数である。
2.0	2	左寄せ	プレイリストのランタイム(プレイリスト内の全てのプログラムの合計ランタイム)

30

図15は、例示的なプレイリスト削除オプションオーバーレイを示す図である。プレイリスト削除オプションオーバーレイは、ユーザーが、プログラムを有するプレイリスト画面上で削除アクションアイコンを選択したときに表示することが可能である。表39および40は、当該のオーバーレイの提供に関連して、IPGおよび／またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

40

【0102】

【表 3 9】

表39: 例示的なプレイリスト削除オプションオーバーレイの概要

No.	説明
1.0	ガイドは、ユーザーが、プログラムを有するプレイリスト画面上で削除アクションアイコンを選択したときに、プレイリスト削除オプションオーバーレイを表示することが可能である。
1.1	プレイリスト削除オプションオーバーレイのタイトルは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「削除オプション」という文字を黄色で表示することが可能である。
2.0	ユーザーが、プログラムを有するプレイリスト画面内の少なくとも1つのプログラムの削除チェックボックスをチェックした場合、ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「<チェックマーク／ボックス>のあるプログラムだけを削除する」というラベルを有する削除アイコンをプレイリスト削除オプションオーバーレイ上に表示することが可能である。
2.1	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「全てのプログラムを削除する」というラベルを有する削除アイコンをプレイリスト削除オプションオーバーレイ上に表示することが可能である。
2.2	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「プレイリスト全体を削除する」というラベルを有する削除アイコンをプレイリスト削除オプションオーバーレイ上に表示することが可能である。
2.3	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「キャンセル」というラベルを有する最後>Last)／戻る(Back)アイコンをプレイリスト削除オプションオーバーレイ上に表示することが可能である。
3.0	削除オプションは、以下の順序で表示することが可能である。 ・<チェックマーク／ボックス>のあるプログラムだけを削除する(ある場合) ・全てのプログラムを削除する ・プレイリスト全体を削除する ・なにもしない
4.0	デフォルトのハイライトを、「<チェックマーク／ボックス>のあるプログラムだけを削除する」に置くことが可能である(ある場合)。
4.1	「<チェックマーク／ボックス>のみのプログラムを削除する」オプションが存在しない場合は、デフォルトのハイライトを「全てのプログラムを削除する」に置くことが可能である。
5.0	本節において指定された場合を除いて、本オーバーレイは付録の共通アクションオーバーレイの節内の説明に従うことが可能である。

【 0 1 0 3 】

【表40】

表40: 例示的なプレイリスト削除オプションオーバーレイのアクションアイコンの説明

No.	アクションアイコン	選択時の機能
1.0	チェックマークのあるプログラムだけを削除する(ある場合)	下層のプログラムを有するプレイリスト画面で、全てのプログラムがチェックされた場合、ガイドは、VODサーバー26にリクエストを送信して、全てのプログラムをプレイリストから削除してオーバーレイを閉じ、デフォルトのプレイリスト名の場所に、プレイリスト名を有するデフォルトのプレイリスト画面を表示する。
1.1	チェックマークのあるプログラムだけを削除する(ある場合)	下層のプログラムを有するプレイリスト画面で、全てのプログラムがチェックされていない場合、ガイドは、VODサーバー26にリクエストを送信して、チェックされたプログラムをプレイリストから削除してオーバーレイを閉じ、削除を反映するように更新した下層のプログラムを有するプレイリストを表示する。
2.0	全てのプログラムを削除する	ガイドは、VODサーバー26にリクエストを送信して、全てのプログラムをプレイリストから削除してオーバーレイを閉じ、デフォルトのプレイリスト名の場所に、プレイリスト名を有するデフォルトのプレイリスト画面を表示する。
3.0	プレイリスト全体を削除する	ガイドは、オーバーレイを閉じて、プレイリスト削除確認オーバーレイを表示することが可能である。
4.0	なにもしない	ガイドは、オーバーレイを閉じることが可能である。

10

20

30

図16は、ユーザーが、デフォルトのプレイリスト画面上の削除アイコンを選択するか、またはプレイリスト削除オプションオーバーレイ上のプレイリスト全体を削除するオプションを選択したときに表示されうる、例示的なプレイリスト削除オーバーレイを示す図である。表41および42は、当該のオーバーレイの提供に関連して、IPGおよび/またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

【0104】

【表41】

表41:例示的なプレイリスト削除確認オーバーレイの概要

No.	説明	論述
1.0	ガイドは、ユーザーが、デフォルトのプレイリスト画面上の削除アクションアイコンを選択するか、またはプレイリスト削除オプションオーバーレイ上のプレイリスト全体を削除するオプションを選択したときに、プレイリスト削除確認オーバーレイを表示することが可能である。	10
1.1	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「プレイリストを削除する」というラベルを有する削除アイコンをプレイリスト削除オーバーレイ上に表示することが可能である。	
1.2	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「プレイリストを削除しない」というラベルを有するキャンセルアイコンをプレイリスト削除オーバーレイ上に表示することが可能である。	
2.0	デフォルトのハイライトを削除アイコンとすることが可能である。	20
3.0	本節において指定された場合を除いて、本確認画面は、付録内の共通の確認オーバーレイの節に提供される説明に従うことが可能である。	

【0105】

【表42】

表42:例示的なプレイリスト削除確認オーバーレイのアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
1.0	プレイリストを削除する	常に表示	ガイドは、VODサーバー26にリクエストを送信して、その全てのコンテンツとともにプレイリストを削除してオーバーレイを閉じ、プレイリストがアクセスされた画面を表示する。
2.0	プレイリストを削除しない	常に表示	ガイドは、オーバーレイを閉じることが可能である。

30

40

図17は、ユーザーが、デフォルトのプレイリスト画面またはプログラムを有するプレイリスト上でロックアクションアイコンを選択して、PINロック入力オーバーレイ上で適切なPINを入力したときに表示されうる、例示的なオーバーレイを示す図である。プレイリストがロックされている場合、適切なPINのない人は誰もプレイリストにアクセスして再生、編集、または削除を行うことができない。表43および44は、当該のオーバーレイの提供に関連して、IPGおよび/またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

【0106】

【表43】

表43:例示的なプレイリストロックオーバーレイの概要

No.	説明
1.0	本オーバーレイは、ユーザーが、デフォルトのプレイリスト画面またはプログラムを有するプレイリスト画面上のロックアクションアイコンを選択して、PINロック入力オーバーレイ上で適切なPINを入力したときに表示することが可能である。
2.0	プレイリストロックオーバーレイのタイトル文字は、黄色で「ロック確認」とすることが可能である。
2.1	タイトルテキストの下の記述テキストは、白色で「ロックするとのプレイリストへのアクセスが制限されます」とすることが可能である。
3.0	プレイリストが現在ロックされていない場合、ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「このプレイリストをロックする」というラベルを有するアンロックアイコンをプレイリストロックオーバーレイ上に表示することが可能である。
3.1	プレイリストが現在ロックされている場合、ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「このプレイリストをアンロックする」というラベルを有するロックされたアイコンをプレイリストロックオーバーレイ上に表示することが可能である。
4.0	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「このロックを確認」というラベルを有するOK/Yesアイコンをプレイリストロックオーバーレイ上に表示することができる。
5.0	本オーバーレイのデフォルトのハイライトを、「このロックを確認」オプションに置くことが可能である。
6.0	本節において指定された場合を除いて、本オーバーレイは、付録の共通アクションオーバーレイに提供される説明に従うことが可能である。

【0107】

【表44-1】

表44:例示的なプレイリストロックオーバーレイのアクションアイコンの説明

30

No.	アクションアイコン	選択時の機能
1.0	このプレイリストをロックする	ガイドは、プレイリストのロック状態をロックされた状態に更新し、アクションアイコンをロックされたアイコンに更新し、ラベルを「このプレイリストをアンロックする」に更新することが可能である。

【0108】

【表44-2】

表44:例示的なプレイリストロックオーバーレイのアクションアイコンの説明

40

No.	アクションアイコン	選択時の機能
1.1	このプレイリストをアンロックする	ガイドは、プレイリストのロック状態を未ロック状態に更新し、アクションアイコンを未ロックアイコンに更新し、ラベルを「このプレイリストをロックする」に更新することが可能である。
2.0	ロックを確認	ガイドは、オーバーレイを閉じることができる。

図18および19は、ユーザーが、デフォルトのプレイリスト画面またはプログラムを有するプレイリスト画面上の検索アクションアイコンを選択したときに表示されうる、例

50

示的なプレイリスト検索画面を示す図である。これらの画面は、プレイリストに追加して利用可能な無料VODリストの検索結果を含む。表45乃至50は、当該の画面の提供に関連して、IPGおよび/またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

【0109】

【表45-1】

表45:例示的なプレイリスト検索画面の概要表

No.	説明
1.0	ガイドは、ユーザーが、デフォルトのプレイリスト画面またはプログラムを有するプレイリスト画面上の検索アイコンを選択したときに、プレイリスト検索画面を表示することが可能である。
2.0	プレイリスト検索画面は、以下の領域を含むことが可能である。 ・画面ヘッダー領域 ・瞬間的情報領域 ・プレイリスト候補領域 ・アクションアイコン領域
3.0	プレイリスト候補領域は、プレイリスト候補のヘッダー行および縦型リストを含むことが可能である。
3.1	プレイリスト候補領域内のヘッダー行は、左揃えで、「<プレイリスト名>を検索する」という文字が後ろに続く、検索アイコンを含むことが可能であり、「を検索する」の文字は、ガイド設定時にユーザーが定義した言語である。
3.2	プレイリスト候補領域内のヘッダー行は、右揃えで、「追加または削除を選択する」という文字を含むことが可能であり、その文字は、ガイド設定時にユーザーが定義した言語である。
4.0	プレイリスト候補の縦型リストは、あらゆる加入または購入をせずに無料でユーザーが利用可能な全てのVODプログラムを含むことが可能である。

10

20

30

【0110】

【表45-2】

表45:例示的なプレイリスト検索画面の概要表

No.	説明
4.1	現在プレイリストに含まれているあらゆるVODプログラムのリストセルは、リストセル内に右寄せでプレイリストアイコンを表示することが可能である。
5.0	ガイドは、そのプレイリストに対して、例えば24を超える相異なるVODプログラムを含めないようにすることができます。
5.1	ユーザーが、例えば24のプログラムのプレイリストインジケータを「オン」にトグルし、更なるプログラムのプレイリストインジケータを「オン」にトグルした場合、ガイドは、最大プログラム数通知を表示することができます。
6.0	プログラムは、プレイリスト検索画面内でのトグルのオン/オフ時に、直ちにプレイリストに追加、またはこれから削除することができます。

40

【0111】

【表46】

表46:例示的なプレイリスト検索画面のアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
1.0	最後	常に表示	それが表示された画面を表示する。
2.0	下矢印	常に表示	次のページがある場合は、検索結果の次のページを表示する。
2.1	下矢印	常に表示	次のページがなければ非アクティブ
4.0	確認	常に表示	プレイリスト内に含まれるものとしてマークされたプログラムがない場合、デフォルトのプレイリスト画面を表示する。
4.1	確認	常に表示	プレイリスト内に含まれるものとしてマークされた1つ以上のプログラムがある場合、デフォルトのプレイリスト画面を表示する。
8.0	削除	常に表示	全プログラム消去確認オーバーレイを表示する。

10

20

【0112】

【表47-1】

表47:例示的なプレイリスト検索画面の入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
1.0	電源	任意	通常
2.0	音量上げ	任意	通常
3.0	音量下げ	任意	通常
4.0	ミュート	任意	通常

30

【0113】

【表47-2】

表47: 例示的なプレイリスト検索画面の入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
5.0	チャネル上げ	任意	通常
6.0	チャネル下げ	任意	通常
7.0	バイパス	任意	通常
8.0	メニュー	任意	通常
9.0	ガイド	任意	通常
10.0	音楽	任意	通常
11.0	テーマ	任意	通常
12.0	検索	任意	通常
13.0	設定	任意	通常
14.0	終了	任意	通常
15.0	最後	任意	通常
16.0	右矢印	任意のリストセル	非アクティブ
16.1	右矢印	最右端以外のアクションアイコン	通常
16.2	右矢印	最右端のアクションアイコン	ガイドは、最左端のアクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。
17.0	左矢印	任意のリストセル	非アクティブ
17.1	左矢印	最左端以外の任意のアクションアイコン	通常
17.2	左矢印	最左端のアクションアイコン	ガイドは、最右端のアクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。
18.0	上矢印	最初のページ上の最上のリストセル	非アクティブ
18.1	上矢印	ページ上の最上以外の任意のリストセル	ガイドは、次の高位のリストセルにハイライトを移動することが可能である。
18.2	上矢印	最初以外の任意のページ上の最上のリストセル	ガイドは、前のページを表示して、最下のリストセルをハイライトすることが可能である。

10

20

30

40

【0114】

【表47-3】

表47: 例示的なプレイリスト検索画面の入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作	
18.3	上矢印	任意のアクションアイコン	ガイドは、ページ上の最下のリストセルをハイライトすることが可能である。	
19.0	下矢印	ページ上の最下以外の任意のリストセル	ガイドは、次の下位のリストセルにハイライトを移動することが可能である。	
19.1	下矢印	最下のリストセル	ガイドは、下矢印アクションアイコンへハイライトを移動することが可能である。	10
19.2	下矢印	下矢印アクションアイコン	ガイドは、リストの次のページを表示し、最上のリストセルをハイライトすることが可能である。	
19.3	下矢印	下矢印以外の任意のアクションアイコン	非アクティブ	
20.0	OK	任意のアクションアイコン	表46を参照のこと。	
20.1	OK	任意のリストセル	ガイドは、プログラムをプレイリストに追加およびプレイリストから取り除き、リストセル内で右揃えのプレイリストインジケータのオンまたはオフをトグルすることが可能である。	20
21.0	数字 0-9	任意	通常	
22.0	上へスクロール	任意	通常	
23.0	下へスクロール	任意	通常	
24.0	一日進める	任意	非アクティブ	
25.0	一日戻す	任意	非アクティブ	
26.0	ヘルプ	任意	非アクティブ	30
27.0	情報	任意のリストセル	ガイドは、ハイライトされたプログラムのためのVODプログラム情報画面を表示することが可能である。	
27.1	情報	任意のアクションアイコン	非アクティブ	
28.0	お気に入り	任意	非アクティブ	
29.0	ロック	任意	非アクティブ	
30.0	記録	任意	非アクティブ	
31.0	停止	任意	非アクティブ	40
32.0	一時停止	任意	非アクティブ	

【0115】

【表47-4】

表47: 例示的なプレイリスト検索画面の入力キー処理

No.	キー	画面フォーカス	動作
33.0	再生	任意	非アクティブ
34.0	巻き戻し	任意	非アクティブ
35.0	早送り	任意	非アクティブ
36.0	PPV	任意	通常
37.0	文字 A-Z	任意	非アクティブ
38.0	VOD	任意	非アクティブ
39.0	ライブのTVに戻る	任意	非アクティブ
40.0	前方へスキップ	任意	非アクティブ
41.0	リプレイ	任意	非アクティブ
42.0	A	任意	非アクティブ
43.0	B	任意	非アクティブ
44.0	C	任意	非アクティブ
45.0	デジタル記録	任意	通常
46.0	スワップ	任意	非アクティブ

10

20

【0116】

【表48】

表48: 例示的なプレイリスト検索画面の他のイベント処理

No.	イベント	条件／コメント
1.0	画面タイムアウト	通常
2.0	メモ	通常
3.0	スケジュールされた記録ファイル	通常
4.0	順序付けしたPPVの開始	通常
5.0	PPV購入ウィンドウの期限切れ	非アクティブ
6.0	現在のプログラムを終了	通常
7.0	データベースへのデータの追加、削除、または変更	通常

30

40

【0117】

【表49】

表49:例示的なプレイリスト検索画面／モードエントリ

No.	機能	説明
1.0	ガイドの初期化	VOD機能が利用可能になり次第、プレイリスト検索画面を利用可能とすることが可能である。
2.0	ハイライト	デフォルトのハイライトを、プレイリスト候補領域の最初のリストに置くことが可能である。
3.0	包含を表示	あらゆる加入または購入をせずに無料である全てのVODプログラムを表示する。
4.0	ソート／グループ化基準	プログラムは、英数字の昇順でソートすることが可能である。
5.0	カスタム化	オンデマンドアイコンは、MSOで設定可能とすることが可能である。
6.0	他のエントリアクション	非適用
7.0	プレイリストコンテキスト	プレイリスト検索画面は、この画面が起動されたプレイリスト情報画面内のVODプレイリストのコンテキストを保持することが可能である。

10

20

【0118】

【表50】

表50:例示的なプレイリスト検索の画面フォーマッティング

No.	機能	説明
1.0	プログラムのタイトル	通常
2.0	時間	通常
3.0	チャネル	非適用
4.0	他のテキスト	非適用
5.0	色	通常
6.0	インジケータ	非適用
7.0	ブランディング	非適用
8.0	オーディオ	通常
9.0	LED	通常

30

40

図20は、ユーザーが、プレイリスト選択スクリーン上の削除アクションアイコンを選択したときに表示されうる、例示的な全プログラム消去確認オーバーレイを示す図である。表51および52は、当該のオーバーレイの提供に関連して、IPGおよび／またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

【0119】

【表 5 1】

表51:例示的な全プログラム消去確認オーバーレイの概要

No.	説明
1.0	ガイドは、ユーザーが、プレイリスト検索画面上の削除アクションアイコンを選択したときに、全プログラム消去オーバーレイを表示することが可能である。
1.1	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、黄色の文字で「選択した全プログラムを消去する」というタイトルを全プログラム消去オーバーレイ上に表示することが可能である。
1.2	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「本当にこのプレイリストに選択した全てのプログラムを消去しますか?」というプロンプトを全プログラム消去オーバーレイ上に表示することが可能である。
1.3	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「選択した全プログラムを消去する」というラベルを有するOK/Yesアイコンを全プログラム消去オーバーレイ上に表示することが可能である。
1.4	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「消去しない」というラベルを有するキャンセルアイコンを全プログラム消去オーバーレイ上に表示することが可能である。
2.0	デフォルトのハイライトをOK/Yesアイコンに置くことが可能である。
3.0	本節において指定された場合を除いて、本確認画面は、付録内の共通の確認オーバーレイの節に提供される説明に従うことが可能である。

10

20

【0120】

【表 5 2】

表52:例示的な全プログラム消去確認オーバーレイのアクションアイコン表

30

No.	名称	条件	説明
1.0	選択した全プログラムを消去する	常に表示	全プログラム消去オーバーレイを閉じ、全てのプログラムをプレイリストから消去し、全てのプレイリストインジケータを取り除いて更新した下層のプレイリスト検索画面を表示する。
2.0	消去しない	常に表示	全プログラム消去オーバーレイを閉じる。

(第 I I I 節 ブックマーク)

ブックマーク機能によって、ユーザーは、複合のブックマーク済み／中断中プログラムリスト（本願明細書では、集合的に保存プログラムリストと称する）内のあらゆるプログラムを保存することができる。下述の実施態様では、オンデマンドプログラムだけを含む。他の実施態様では、非オンデマンドプログラムを含むことが可能である。

40

【0121】

本実施態様では、常に無料であるか、加入によって無料となるか、または購入が必要であるかどうかに関わらず、あらゆるオンデマンドプログラムをブックマークすることができる。ユーザーは、例えばオンデマンドプログラム情報画面からブックマークアイコンを選択することが可能である。

【0122】

図21は、ユーザーが、VODプログラム情報画面内のブックマークアイコンを選択し

50

、プログラムがまだブックマークされていないときに表示されうる、例示的なVODプログラムブックマーク確認オーバーレイを示す図である。表53乃至55は、当該のオーバーレイの提供に関連して、IPGおよび／またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

【0123】

【表53】

表53:プログラムのブックマーク確認オーバーレイのシステムの説明

No.	説明
1.0	VODサーバー26は、相異なるSTBのそれぞれに対するブックマーク済みプログラムのリストを保持することが可能である。
2.0	VODサーバー26は、ガイドが、ユーザーの「このプログラムをブックマークする」アクションアイコンの選択に基づいて、ブックマーク設定リクエストを行った場合に、情報画面内に示されるプログラムをブックマーク済みプログラムのリストに追加することが可能である。
2.1	VODサーバー26は、加入者がアクセス可能なあらゆるVODアセットをブックマークすることができる。
2.2	VODサーバー26が、STBに対して最大(例、20)のブックマーク済みプログラムをすでに有し、ガイドが、更なるブックマーク済みプログラムをリクエストした場合、VODサーバー26は、最も古いブックマーク済みプログラムをSTBに対するブックマーク済みプログラムから削除することが可能である。

10

20

【0124】

【表54-1】

表54:例示的なプログラムのブックマーク確認オーバーレイの概要

No.	説明
1.0	ガイドは、ユーザーが、あらゆるVODプログラム情報画面上のブックマークアイコンを選択したときに、プログラムブックマーク確認オーバーレイを表示することが可能である。
1.1	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「このプログラムをブックマークする」というラベルを有するブックマークボタンをプログラムブックマーク確認オーバーレイ上に表示することが可能である。

30

【0125】

【表54-2】

表54:例示的なプログラムのブックマーク確認オーバーレイの概要

40

No.	説明
1.2	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「このプログラムをブックマークしない」というラベルを有するキャンセルボタンをプログラムブックマーク確認オーバーレイ上に表示することが可能である。
2.0	デフォルトのハイライトを、このプログラムをブックマークするアクションアイコンに置くことが可能である。
3.0	本節において指定された場合を除いて、本確認画面は、付録内の共通の確認オーバーレイの節に提供される説明に従うことが可能である。

50

【0126】

【表 5 5】

表55:例示的なプログラムブックマーク確認オーバーレイのアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
1.0	このプログラムをブックマークする	常に表示	VODサーバー26にブックマークの追加をリクエストし、プログラムブックマーク確認オーバーレイを閉じ、下層のVODプログラム情報画面内の瞬間的情報画面を更新する。
2.0	このプログラムをブックマークしない	常に表示	プログラムのブックマーク確認オーバーレイを閉じる

10

図22は、ユーザーが、すでにブックマークされたプログラムに対して、VODプログラム情報画面上のブックマークアイコンを選択したときに表示されうる、例示的なブックマーク済み確認オーバーレイを示す図である。表56乃至58は、当該のオーバーレイの提供に関連して、IPGおよび/またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

20

【0127】

【表 5 6】

表56:例示的なブックマーク済み確認オーバーレイのシステムの説明

No.	説明
1.0	VODサーバー26は、相異なるSTBのそれぞれに対するブックマークされたプログラムのリストを保持することが可能である。
2.0	VODサーバー26は、ガイドが、ユーザーの「このプログラムのブックマークを保持しない」アクションアイコンの選択に基づいて、ブックマークの除去をリクエストさせた場合、情報画面内に示されるプログラムを保存プログラムリストから削除することが可能である。

30

【0128】

【表 5 7】

表57: 例示的なブックマーク済み確認オーバーレイの概要

No.	説明
1.0	ガイドは、ユーザーが、すでにブックマークされたプログラムに対して、VODプログラム情報画面上のブックマークアイコンを選択したときに、ブックマーク済み確認オーバーレイを表示することが可能である。
1.1	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、黄色の文字で「このプログラムすでにブックマークされています。」というタイトルをブックマーク済み確認オーバーレイ上に表示することが可能である。
1.2	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「このプログラムのブックマークを保持する」というラベルを有するブックマークボタンをブックマーク済み確認オーバーレイ上に表示することが可能である。
1.3	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「このプログラムのブックマークを保持しない」というラベルを有するキャンセルボタンをブックマーク済み確認オーバーレイ上に表示することが可能である。
2.0	デフォルトのハイライトを「ブックマーク」アイコンに置くことが可能である。
3.0	本節において指定された場合を除いて、本確認画面は、付録内の共通の確認オーバーレイの節に提供される説明に従うことが可能である。

10

20

【0 1 2 9】

【表 5 8】

表58: 例示的なブックマーク済み確認オーバーレイのアクションアイコン表

No.	名称	条件	説明
1.0	このプログラムの ブックマークを保 持する	常に表示	ブックマーク済み確認オーバーレイを閉じる。
2.0	このプログラムの ブックマークを保 持しない	常に表示	VODサーバー26にブックマークの除去をリクエストし、ブックマーク済み確認オーバーレイを閉じ、下層のVODプログラム情報画面内の瞬間的情報画面を更新する。

30

図23および24は、ユーザーが、オンデマンドプログラム情報画面上の購入または視聴アイコンを選択した後にブックマークしたか、または中断したプログラムのリストを含む、例示的な保存プログラムリスト画面を示す図である。VODサーバー26(図1)は、画面上で保存プログラムに対するカテゴリを定義することによって、オンデマンドメインメニューまたはVRN画面を介して、保存プログラムリスト画面へのリンクを提供することが可能である。ユーザーは、本スクリーンから、保存プログラムのオンデマンド情報画面にアクセスして、プログラムの視聴を開始または再開することができる。表59乃至65は、当該のオーバーレイの提供に関連して、IPGおよび/またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

40

【0 1 3 0】

【表 5 9 - 1】

表59:例示的な保存プログラムリスト画面のシステムの説明

No.	説明
1.0	VODサーバー26は、相異なる加入者世帯のそれぞれに対する中断中プログラムのリストを保持することが可能である。
2.0	VODサーバー26は、相異なるSTBのそれぞれに対するブックマークされたプログラムのリストを保持することが可能である。
3.0	ガイドが保存プログラムリストをリクエストしたとき、VODサーバー26は、以下を含む複合リストを提供することが可能である。 ・STBに対するブックマーク済みプログラム ・加入者世帯に対する中断中プログラム
3.1	複合保存プログラムリストは、全ての中断中プログラムを最初に、次に全てのブックマーク済みプログラムを含むようにソートすることが可能である。

10

【 0 1 3 1 】

【表 5 9 - 2】

表59: 例示的な保存プログラムリスト画面のシステムの説明

No.	説明	
3.2	中断中プログラムおよびブックマーク済みプログラムは、保存プログラムリスト内で混合することができない。	
3.3	中断中プログラムは、保存プログラムリストの中断中プログラム領域内で、英数字でソートすることが可能である。	
3.4	ブックマーク済みプログラムは、保存プログラムリストの中断中プログラム領域内で、英数字でソートすることが可能である。	10
3.5	VODサーバー26は、複合保存プログラムリスト内の個々のプログラムを、中断中またはブックマーク済みとして識別することが可能である。	
3.6	VODサーバー26は、必要に応じて、保存プログラムリスト画面のページを切り替えて、異なる保存プログラムリストページを見せるようにすることが可能である。	
4.0	VODサーバー26は、加入者世帯ごとに最大20の中断中プログラムを提供することが可能である。	
4.1	VODサーバー26の構成は、プログラムを中断する(すなわち、中断中プログラムリストに追加する)かどうかを決定することが可能である。	20
4.2	VODサーバー26が、加入者世帯に対して例えば20の中断中プログラムをすでに有し、ガイドが、異なる中断中プログラムをリクエストした場合、オンデマンドシステムは、最も古い3中断中プログラムを加入者世帯に対する中断中プログラムリストから削除することが可能である。	
4.3	VODサーバー26は、レンタルまたは視聴期間が期限切れになったときに、中断中のプログラムを保存プログラムリストから自動的に削除することが可能である。	
4.4	VODサーバー26は、中断中プログラムがそれらのライセンスウィンドウの終わりに達した場合、それらを保存プログラムリストから自動的に削除することが可能である。	
5.0	VODサーバー26は、STBごとに例えば最大20のブックマーク済みプログラムをサポートすることが可能である。	30
5.1	VODサーバー26は、加入者がアクセス可能なあらゆるオンデマンドアセットをブックマークすることが可能である。	
5.2	VODサーバー26が、STBに対して例えば20のブックマーク済みプログラムを有し、ガイドが異なるブックマーク済みプログラムをリクエストした場合、VODサーバー26は、最も古いブックマーク済みプログラムをSTBに対するブックマーク済みプログラムから削除することが可能である。	
5.3	VODサーバー26は、ブックマーク済みプログラムがそれらのライセンスウィンドウの終わりに達した場合、それらを保存プログラムリストから自動的に削除することが可能である。	

40

³「最も古い」中断中プログラムとは、最も早い有効期限／時間を有する中断中プログラムのことである。

【 0 1 3 2 】

【表 5 9 - 3】

表59: 例示的な保存プログラムリスト画面のシステムの説明

No.	説明	
6.0	ガイドが、すでにブックマーク済みのプログラムの中断をリクエストした場合、VODサーバー26は、そのプログラムのステータスをブックマーク済みから中断中に変更することができる。	
6.1	ガイドが、中断することができないブックマーク済みプログラムの購入および／または再生をリクエストした場合、そのプログラムを保存プログラムリストから取り除くことが可能である。	10
7.0	システムは、ガイドにオンデマンドアイコンを提供することが可能である。	
7.1	オンデマンドアイコンは、個々のヘッドエンドレベルに対して設定可能とすることが可能である。	
8.0	VODサーバー26は、保存プログラムリスト画面のための画面タイトルをガイドに提供することが可能である。	
9.0	VODサーバー26は、保存プログラムリスト画面内にバーカーウィンドウを表示すべきかどうかを表示することが可能である。	
10.0	VODサーバー26は、保存プログラムリスト内の各プログラムに対して、規定されているように以下のメタデータを提供することが可能である。 ・簡易プログラムタイトル ・中断中またはブックマーク済みフラグ ・有効期限(中断中プログラム用) ・ライセンスウインドウデータ(ブックマーク済みプログラム用) ・アダルトフラグ ・価格文字列 ・字幕フラグ ・HDTVフラグ ・ドルビーデジタルオーディオフラグ ・ワイド画面フラグ ・TV評価／MPAA評価 ・プレイリストフラグ内 ・プログラム所要時間 ・年 ・俳優1、俳優2 ・無料フラグ ・ラストチャンスフラグ	20
11.0	システムは、オンデマンドブランドをガイドに提供することが可能である。	30
11.0	オンデマンドアイコンは、ヘッドエンドレベルに対して設定可能とすることが可能である。	40

【 0 1 3 3 】

【表 6 0 - 1】

表60:例示的な保存プログラムリスト画面の瞬間的情報の表示

No.	ハイライト位置	ライン	説明	
1.0	ビデオバーカーがある場合は任意のプログラム	1	簡易プログラムタイトル、オンデマンドデータで指定された、左揃えの黄色のテキスト	
1.0	ビデオバーカーがない場合は任意のプログラム	1	完全なプログラムタイトル、オンデマンドデータで指定された、左揃えの黄色のテキスト	10
2.0	ビデオバーカーがない場合は「無料」とマークされたあらゆるプログラム	1	価格文字列、オンデマンドデータで指定された、右揃えの黄色のテキスト	
2.1	ビデオバーカーがない場合は「無料」とマークされていないあらゆるプログラム	1	価格文字列、オンデマンドデータで指定された、右揃えの白色のテキスト	20
2.2	ビデオバーカーがある場合は「無料」とマークされたあらゆるプログラム	2	価格文字列、オンデマンドデータで指定された、左揃えの黄色のテキスト	
2.3	ビデオバーカーがある場合は「無料」とマークされていないあらゆるプログラム	2	価格文字列、オンデマンドデータで指定された、右揃えの白色のテキスト	30
3.0	あらゆるプログラム	2	プログラムインジケータ、右揃え、表65で指定されたもの	
4.0	ビデオバーカーがない場合はあらゆるプログラム	2	プログラム所要時間、「<所要時間>min」のフォーマットの左揃えの白色のテキスト	
4.1	ビデオバーカーがある場合はあらゆるプログラム	3	プログラム所要時間、「<所要時間>min」のフォーマットの左揃えの白色のテキスト	
5.0	あらゆるプログラム	3	年、「<年>」のフォーマットの右揃えの白色のテキスト	40

【 0 1 3 4 】

【表 6 0 - 2】

表60:例示的な保存プログラムリスト画面の瞬間的情報の表示

No.	ハイライト位置	ライン	説明
6.0	ラストチャンスフラグが設定され、ビデオバーカーがない場合は、あらゆるブックマーク済みプログラム	3	テキスト「<ライセンスウインドウの最終日>終了」、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語の左揃えの白色のテキスト。日付フォーマットは、DLAに対して、「<yyyy／dd／mm>」または「<mm／dd／yyyy>」である。
6.1	ラストチャンスフラグが設定されておらず、ビデオバーカーがない場合は、あらゆるブックマーク済みプログラム	3	「<俳優1>、<俳優2>」、左寄せの白色のテキスト
6.2	ビデオバーカーがない場合はあらゆる中断中プログラム	3	テキスト「<中断中プログラムに対する有効期限／時間>有効期限」、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語の左揃えの白色のテキスト。日付／時刻フォーマットは、DLAに対して、「<mm／dd>の<hh:mm><a／p>」または「<dd／mm>の<hh:mm><a／p>」である。
6.3	ラストチャンスフラグが設定され、ビデオバーカーがある場合は、あらゆるブックマーク済みプログラム	4	テキスト「<ライセンスウインドウの最終日>終了」、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語の左揃えの白色のテキスト。日付フォーマットは、DLAに対して、「<yyyy／dd／mm>」または「<mm／dd／yyyy>」である。
6.4	ラストチャンスフラグが設定されておらず、ビデオバーカーがある場合は、あらゆるブックマーク済みプログラム。	4	「<俳優1>、<俳優2>」、左寄せの白色のテキスト
6.5	ビデオバーカーがある場合はあらゆる中断中プログラム	4	テキスト「<中断中プログラムに対する有効期限／時間>有効期限」、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語の左揃えの白色のテキスト。日付／時刻フォーマットは、DLAに対して、「<mm／dd>の<hh:mm><a／p>」または「<dd／mm>の<hh:mm><a／p>」である。

10

20

30

40

【 0 1 3 5 】

【表 6 1 - 1】

表61: 例示的な保存プログラムリスト画面の概要

No.	説明
1.0	保存プログラムリスト画面は、以下を含むことが可能である。 ・画面ヘッダー領域 ・瞬間的情報領域 ・保存されたプログラムリスト領域
1.1	保存プログラムリスト領域は、ヘッダー行および縦型の保存プログラムリストを含むことが可能である。
1.2	保存プログラムリスト領域のヘッダー行は、左揃えで、オンデマンドデータで指定された白色の文字の画面タイトルが後に続く、オンデマンドアイコンを含むことが可能である。
2.0	ガイドは、保存プログラムリスト画面上に表示するため、中断中および／またはブックマーク済みプログラムのリストを得ることが可能である。
2.1	ガイドは、保存プログラムリスト画面上に、例えば0乃至7つのリストセルを表示することが可能である。
2.1.1	バーカウンドウがあるとき、ガイドは、保存プログラムリスト画面上に、例えば0乃至6つのリストセルを表示することが可能である。
2.2	リストセルは、ガイドによって、縦型カラムで保存プログラムリスト画面上の、保存プログラムリスト領域内のヘッダー行の下に表示することが可能である。
2.3	ガイドは、オンデマンドデータにおいて返された相異なるアセットのそれについて1つのリストセルを表示することが可能である。
2.4	保存プログラムリスト画面上の各リストセルのラベルは、ビデオがアダルトであると評価され、またペアレンタルコントロール設定において隠しアダルトタイトルのオプションを有効にしている場合を除いて、オンデマンドデータによって定義された、簡易タイトルのプログラムとすることが可能である。
2.5	保存プログラムリスト画面上の1つのリストセルのラベルは、ビデオがアダルトであると評価され、またペアレンタルコントロール設定において隠しアダルトタイトルのオプションを有効にしている場合、ユーザーが選択した言語で「アダルトプログラム」とすることが可能である。
2.6	ガイドは、オンデマンドデータがそのプログラムをブックマーク済みであると示した場合、リストセル上にブックマーク済みアイコンを表示することが可能である。

【 0 1 3 6 】

【表 6 1 - 2】

表61:例示的な保存プログラムリスト画面の概要

No.	説明
2.6.1	ガイドは、オンデマンドデータが、そのプログラムをブックマーク済みで、そのプログラムがラストチャンスビデオであると示した場合、ブックマーク済みアイコンのすぐ左に、リストセル内に右揃えで、プログラムのライセンスウインドウの最終日が後ろに続く、「終了」というテキストをユーザーが選択したテキスト言語で表示することが可能である。 例:「終了 6/25」(すなわち6月25日)
2.6.2	DLA環境では、ガイドは、オンデマンドデータが、そのプログラムをブックマーク済みで、そのプログラムがラストチャンスビデオであると示した場合、ブックマーク済みアイコンのすぐ左に、リストセル内に右揃えで、プログラムのライセンスウインドウの最終日が国際的な日付フォーマットで後ろに続く、「終了」というテキストをユーザーが選択した言語で表示することが可能である。 例:「終了 25/6」(すなわち6月25日)
2.7	ガイドは、オンデマンドデータがそのプログラムが中断中であると示した場合、リストセル上にチェックマークアイコンを表示することが可能である。
2.7.1	ガイドは、オンデマンドデータがそのプログラムが中断中であると示した場合、チェックマークアイコンのすぐ左に、リストセル内に右揃えで、有効期限および時間が後ろに続く、「有効期限」という文字をユーザーが選択したテキスト言語で表示することが可能である。 例:「有効期限 11/12 8:05p」(すなわち11月12日)
2.7.2	DLA環境では、ガイドは、オンデマンドデータがそのプログラムが中断中であると示した場合、チェックマークアイコンのすぐ左に、リストセル内に右揃えで、有効期限および時間が国際的な日付フォーマットで後ろに続く、「有効期限」という文字をユーザーが選択したテキスト言語で表示することが可能である。 例:「有効期限 12/11 8:05p」(すなわち11月12日)
2.8	ガイドは、プログラムリストセルを、最上セルから始まって最下セルに進む、オンデマンドデータで指定されたプログラムの順序で画面上に表示することが可能である。
2.9	保存プログラムリスト画面上のリストセルの色は、青とすることが可能である。
3.0	ガイドは、現在フォーカスを有する画面アイテムをハイライトすることが可能である。
4.0	ガイドは、更なる保存プログラムリストページを見るように、ページを前後する機構を提供することが可能である。
4.1	複数の保存プログラムリストページにわたるナビゲーションは循環型ではなく、リストの最上のさらに上、またはリストの最下のさらに下へのナビゲーションは無効である。

10

20

30

40

【 0 1 3 7 】

【表 6 1 - 3】

表61:例示的な保存プログラミスト画面の概要

No.	説明
5.0	ガイドは、保存プログラミスト画面の構成要素の表示を制御することが可能である。
5.1	ガイドは、リストデータが利用可能になるまで、リストセルの表示を延期することが可能である。
5.2	ガイドは、サーバーが、現在利用可能な中断中またはブックマーク済みのプログラムがないことを示した場合、利用可能なリストなし画面を表示することが可能である。
6.0	ガイドは、オンデマンドデータで指定されるように、保存プログラミスト画面上のオプションのバーカーウィンドウをサポートすることが可能である。
6.1	ガイドは、保存プログラミスト画面が表示され、特定の位置においてバーカーが有効であることをオンデマンドデータが示したときに、例えば1000×1000画面ピクセルの大きさを使用して、複数組の同等物間の保存プログラミスト画面の画面上の表示を取り除くことが可能である。
6.2	ガイドは、保存プログラミスト画面が表示され、オンデマンドデータが、バーカーウィンドウが無効であるか、またはバーカーが様々な位置において有効であることを示したときに、画面上の表示を取り除いてバーカーウィンドウを収容することができない。

10

20

【0 1 3 8】

【表 6 2 - 1】

表62:例示的な保存プログラミスト画面の入力キー処理表

No.	キー	画面フォーカス	動作
1.0	電源	任意	通常
2.0	音量上げ	任意	通常
3.0	音量下げ	任意	通常
4.0	ミュート	任意	通常
5.0	チャネル上げ	任意	通常
6.0	チャネル下げ	任意	通常
7.0	バイパス	任意	通常
8.0	メニュー	任意	通常
9.0	ガイド	任意	通常
10.0	音楽	任意	通常

30

40

【0 1 3 9】

【表 6 2 - 2】

表62:例示的な保存プログラムリスト画面の入力キー一処理表

No.	キー	画面フォーカス	動作	
11.0	テーマ	任意	通常	
12.0	検索	任意	通常	
13.0	設定	任意	通常	
14.0	終了	任意	ガイドは、アイドルモードに戻して、フリップパネルを表示することが可能である。	10
15.0	最後	任意	以前の画面がオンデマンドビデオでなかった場合は通常	
15.1	最後	任意	ガイドは、以前の画面がオンデマンドビデオであった場合、オンデマンドメインメニューの最上のカテゴリを表示し、フォーカスを左上のカテゴリバーに置くことが可能である。	
16.0	右矢印	任意	非アクティブ	
17.0	左矢印	任意	非アクティブ	20
18.0	上矢印	最上のリストセル、最初以外の任意のページ	ガイドは、最下の選択可能なリストセルをハイライトして、前ページのリストを表示することが可能である。	
18.1	上矢印	最上のリストセル、最初または唯一のページ	非アクティブ	
18.2	上矢印	その他	通常	
19.0	下矢印	最下のリストセル、最後以外の任意のページ以外	ガイドは、リストの次のページを表示して、最上のリストをハイライトすることが可能である。	30
19.1	下矢印	最下のリストセル、最後のページ	非アクティブ	
19.2	下矢印	その他	通常	
20.0	OK	リストセル	ガイドは、リストセルがブックマーク済みプログラムを示した場合、そのプログラムに対するオンデマンドプログラム情報—非中断中画面を表示することが可能である。	
20.1	OK	リストセル	ガイドは、リストセルが中断中プログラムを示した場合、そのプログラムに対するオンデマンドプログラム情報—中断中画面を表示することが可能である。	40

【 0 1 4 0 】

【表 6 2 - 3】

表62: 例示的な保存プログラムリスト画面の入力キー処理表

No.	キー	画面フォーカス	動作
21.0	数字 0-9	任意	通常
22.0	上へスクロール	任意	通常
23.0	下へスクロール	任意	通常
24.0	一日進める	任意	非アクティブ
25.0	一日戻す	任意	非アクティブ
26.0	ヘルプ	任意	非アクティブ
27.0	情報	リストセル	ガイドは、リストセルがブックマーク済みプログラムを示した場合、そのプログラムに対するオンデマンドプログラム情報—非中断中画面を表示することが可能である。
27.1	情報	リストセル	ガイドは、リストセルが中断中プログラムを示した場合、そのプログラムに対するオンデマンドプログラム情報—中断中画面を表示することが可能である。
28.0	お気に入り	任意	非アクティブ
29.0	ロック	プログラムリスト	通常
30.0	記録	任意	非アクティブ
31.0	停止	任意	非アクティブ
32.0	一時停止	任意	非アクティブ
33.0	再生	任意	非アクティブ
34.0	巻き戻し	任意	非アクティブ
35.0	早送り	任意	非アクティブ
36.0	PPV	任意	通常
37.0	文字 A-Z	任意	非アクティブ
38.0	VOD	任意	非アクティブ
39.0	ライブのTVに戻る	任意	通常
40.0	前方へスキップ	任意	非アクティブ
41.0	リプレイ	任意	非アクティブ
42.0	A	任意	非アクティブ

10

20

30

40

【 0 1 4 1 】

【表 6 2 - 4】

表62:例示的な保存プログラムリスト画面の入力キー処理表

No.	キー	画面フォーカス	動作
43.0	B	任意	非アクティブ
44.0	C	任意	非アクティブ
45.0	デジタル記録	任意	通常
46.0	スワップ	任意	非アクティブ

10

【0 1 4 2】

【表 6 3】

表63:例示的な保存プログラムリスト画面の他のイベント処理表

No.	イベント	条件／コメント
1.0	画面タイムアウト	この画面は、2分で下層の画面へタイムアウトとすることが可能である。
2.0	メモ	通常
3.0	スケジュールされた記録ファイル	通常
4.0	順序付けしたPPVの開始	通常
5.0	PPV購入ウィンドウの期限切れ	非アクティブ
6.0	現在のプログラムを終了	バーカーウィンドウがあれば非アクティブ、バーカーウィンドウがなければ通常
7.0	データベースへのデータの追加、削除、または変更	非適用

20

30

【0 1 4 3】

【表 6 4 - 1】

表64:例示的な保存されたプログラムリスト画面／モードエントリ表

No.	機能	説明
1.0	ガイド初期化	保存プログラムリスト画面は、開始直後に利用可能とすることが可能である。
2.0	ハイライト	デフォルトのハイライトを、ページ上の最初のリストに置くことが可能である。
2.1	ハイライト	本画面から抜けるときは、ハイライト位置を記憶することができない。
3.0	包含基準を表示	上述のシステムおよび概要を参照のこと。

40

【0 1 4 4】

【表 6 4 - 2】

表64: 例示的な保存されたプログラムリスト画面／モードエントリ表

No.	機能	説明
4.0	ソート／グループ化基準	画面上のアイテムは、VODサーバー26から受信した順序とすることが可能である。
5.0	カスタム化	表61を参照のこと。

【0 1 4 5】

10

【表 6 5 - 1】

表65: 例示的な保存されたプログラムリストの画面フォーマッティング

No.	機能	説明
1.0	プログラムのタイトル	保存プログラムリスト画面上の各リストセルのラベルは、ビデオがアダルトであると評価され、またペアレンタルコントロール設定において隠しアダルトタイトルのオプションを有効にしている場合を除いて、VODサーバー26によって返されたビデオの簡易タイトルのプログラムとすることが可能である。
1.1	プログラムのタイトル	保存プログラムリスト画面上の1つのリストセルのラベルは、ビデオがアダルトであると評価され、またペアレンタルコントロール設定において隠しアダルトタイトルのオプションを有効にしている場合、ユーザーが選択した言語で「アダルトプログラム」とすることが可能である。
2.0	時間	通常
3.0	チャネル	非適用
4.0	他のテキスト	非適用
5.0	色	リストセルの色は、青とすることが可能である。

20

30

【0 1 4 6】

【表 6 5 - 2】

表65: 例示的な保存されたプログラムリストの画面フォーマッティング

No.	機能	説明
6.0	インジケータ	<p>プログラムインジケータは、以下の優先順位で瞬間的情報領域内に、右揃えで、規定されたように表示することが可能である(左から右に表示する)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロック／非ロック ・字幕 ・HDTV ・ドルビーデジタルオーディオ ・ワイド画面 ・TV評価／映画評価 ・購入またはチェックマークインジケータ ・ブラックマーク済み ・プレイリスト内 <p>完全なタイトルおよびすべてのアクティブインジケータが瞬間的情報領域内に適合しない場合は、必要に応じて1つ以上の最下の優先度インジケータを省略することが可能である。</p>
6.1	インジケータ	保存プログラムリスト画面へのアクセスに使用されるメニューに関連するアイコンは、保存プログラムリスト領域ヘッダー内の画面タイトルのうちの左側に表示することが可能である。
6.2	インジケータ	上矢印または下矢印アイコンを表示して、更なるリストページが利用可能であることを示すことが可能である。
7.0	プランディング	システムによって提供されるオンデマンドブランドは、画面ヘッダー領域内に左揃えで表示することが可能である。
8.0	オーディオ	ビデオバーカーが提供された場合、オーディオはそのバーに対応することが可能である。
8.1	オーディオ	ビデオバーカーウィンドウが表示されていない場合、オーディオを通常とすることが可能である。
9.0	LED	ガイドは、LED上の時間／チャネル表示の付録に提供された説明に基づいて、LED上に最後のユーザー チャネルまたは現在の時間を表示することが可能である。

10

20

30

40

視聴者が、ビデオを保存プログラムリスト画面から削除することを選択したとき、ガイドは、操作が行われようとしていることを説明し、進行前の確認をリクエストする確認オーバーレイを表示することが可能である。図25は、例示的なビデオ削除確認オーバーレイを示す図である。表66は、当該のオーバーレイの提供に関連して、IPGおよび／またはVODサーバー26の例示的な動作を記述したものである。

【0147】

削除確認オーバーレイに関して、「レンタルを削除する(DELETE RENTAL)」オプションを「YES」オプションとも称し、「レンタルを削除しない(DON'T DELETE RENTAL)」オプションを「NO」オプションとも称する。

【0148】

50

【表 6 6 - 1】

表66: 例示的なビデオ削除確認オーバーレイ

No.	説明	
1.0	ガイドは、ユーザーが、レンタルビデオ情報画面から削除オプションを選択したときに、ビデオ削除確認オーバーレイを表示することが可能である。	
1.1	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「削除確認」という黄色の文字のタイトルをビデオ削除確認オーバーレイ上に表示することが可能である。	
1.2	ガイドは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、「このビデオを削除すると、保存ビデオリストから取り除かれます。このビデオをもう一度見たい場合は、再度注文しなければならないため、追加料金が発生する場合があります。削除を続けますか？」という指示をビデオ削除確認オーバーレイ上に白色の文字で表示することが可能である。	10
1.3	レンタルを削除する(Yes)ボタンは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、ガイドによって、「レンタルを削除する」というラベルとともにビデオ削除確認オーバーレイ上に表示することが可能である。	
1.4	レンタルを削除しない(No)ボタンは、ガイドの設定時にユーザーが定義した言語で、ガイドによって、「レンタルを削除しない」というラベルとともにビデオ削除確認オーバーレイ上に表示することが可能である。	20
2.0	デフォルトのハイライトは、レンタルを削除しない(No)オプションに置くことが可能である。	
3.0	ユーザーがYesボタンを選択した場合、ガイドは、VODサーバー26にビデオを削除するリクエストを送信し、ビデオ削除確認オーバーレイを閉じ、VODサーバー26に現在の保存プログラムに対するクエリーを行い、サーバーによって返された現在の保存プログラムを保存プログラムリスト画面に表示し、最上のリストバーをハイライトする。	
4.0	ユーザーが、Noボタンを選択した場合、ガイドは、ビデオ削除確認オーバーレイを閉じて削除ボタンをハイライトすることが可能である。	
5.0	本節において指定された場合を除いて、本確認画面は、付録内の共通の確認オーバーレイの節に提供される説明に従うことが可能である。	30

【0149】

【表 6 6 - 2】

表66: 例示的なビデオ削除確認オーバーレイ

No.	説明	
6.0	ユーザーが情報キーを押して、このオーバーレイが表示された場合、ガイドは、ビデオ削除確認オーバーレイを閉じて削除ボタンをハイライトすることが可能である。	40

(第 I V 節 例示的なプレイリストトランスポートバー)

本発明によるプレイリストトランスポートバーは、ユーザーが、容易にプレイリスト内および特定のアセット内の再生位置を得られるような様態で、プレイリストのアセットを視覚的に示すオーバーレイを提供する。

【0150】

プレイリストトランスポートバーは、複数の異なるユーザー入力に応えて表示することが可能である。例えば、ユーザー入力装置は、押したときにプレイリストトランスポートバーを表示させる、プレイリストトランスポートバーボタンを有することが可能である。トランスポートバーは、再びボタンを押したときに閉じることが可能である。プレイリス

トランスポートバーは、ユーザーが、アセットの再生に影響する停止、一時停止、早送り、巻き戻し、再生、再開、または他のあらゆるコマンドを発行したときに表示することが可能である。例えば、プレイリストトランスポートバーを、一時停止または停止コマンドに応えて、所定の時間表示することが可能である。所定の時間が経過した後に、双方向メディアアプリケーションを、一時停止または停止したメディアの代わりに他のコンテンツと置き換えて、焼き付きを防ぐことが可能である。別の例として、ユーザーが、早送りまたは巻き戻しコマンドを発行している間に、プレイリストトランスポートバーを表示することが可能である。ユーザーが、プレイリスト内のアセットの再生を再開したときに、プレイリストトランスポートツールバーを、それが画面から取り除かれる前に、所定の時間表示することが可能である。さらに別の例では、ユーザーが、トランスポートバーの様々な要素の間でナビゲートしているときに、プレイリストトランスポートバーを表示することが可能である図32乃至36を参照して以下に詳述する)。

【0151】

図26および27は、プレイリストの再生アセットのための例示的なトランスポートバーを示す図である。図26は、ユーザーが(例えば、図6乃至9の再開または再起動アイコンを選択することによって)プレイリストからプログラムを再生し始めたときに、双方向テレビアプリケーション(例、IPG)を画面2600上に表示することが可能な、例示的なトランスポートバー2602を示す図である。

【0152】

図27は、本発明の一実施態様による、ユーザーが再生を一時停止したときに表示される、例示的なプレイリストトランスポートバーを示す図である。いくつかの実施態様では、ユーザーは、再生を停止することが可能であり、これによって、例示的なプレイリストトランスポートバーを表示させることができある。他の実施態様では、双方向テレビアプリケーションは、プレイリストが所定の時間一時停止された後に、自動的に再生を停止することが可能である。ユーザーは、例えば、図6乃至9の再開アイコンを選択して、またはリモート機器の再生ボタンを押すことによって、一時停止または停止したプログラムの再生を再開することができる。

【0153】

プレイリストトランスポートバー2602は、現在再生中のプログラムのタイトル(ここでは、ロスト・エピソード2)、プレイリスト名(ここでは、ジェーンのプレイリスト)、およびプレイリスト全体のプログラムの合計時間(ここでは、4:54)のような情報を表示することができる。プレイリストトランスポートバー2602は、位置表示領域2610と、アセット領域2622、2624、および2626とを含むことができる。

【0154】

位置表示領域2610は、再生位置の視覚的なインジケータを提供し、位置ニードル2612および情報領域2614を含むことができる。位置ニードル2612は、アセット領域内の1つの部分をオーバーレイしているグラフィックオブジェクト(例、縦型バー)とすることが可能である。図26に示されるように、位置ニードル2612は、アセット領域2622の先頭にあって、またこの特定の実施態様では、プレイリストの先頭に示される。特定のアセットが再生されると、位置表示領域2610は、そのアセットに対応するアセット領域を通じて、左から右に進むことが可能であり、プレイリストから複数のアセットが再生されると、位置表示領域2610は、1つのアセット領域を通じて進み、次いで、次のアセット領域を通じて進むことができる。

【0155】

情報領域2614は、例えば、現在再生中のアセットの経過時間、現在再生中のアセットの残り時間、プレイリストの再生の経過時間、プレイリスト内の残りの再生時間、またはこれらのあらゆる組み合わせを示す時間情報を表示することができる。前記経過時間は、プレイリスト内のアセットの通常速度での連続的な再生にかかる時間を示すものであることに留意されたい。したがって、ユーザーがアセットを早送りまたはスキップした

10

20

30

40

50

場合、情報領域 2614 内に表示される時間は、通常の連続的な速度で新しい再生位置に到達するのにかかる時間を示す。しかし、上述したものに対する別の実施態様では、プレイリスト内のアセットにアクセス（例、視聴する）のに要する実際の時間が表示されるものと理解されたい。情報領域 2614 はまた、再生アクションインジケータを含み、ここでは再生インジケータとして示される。再生アクションインジケータを、プレイリストの再生を一時停止しながら一時停止インジケータに、プレイリストを逆方向に再生しながら逆再生インジケータに、プレイリストを早送りしながら早送りインジケータに、また、プレイリストを巻き戻しながら巻き戻しインジケータに変化させることが可能である。必要に応じて、異なる速度の再生、逆再生、巻き戻し、および早送りに、異なるインジケータを使用することが可能である。

10

【0156】

アセットの再生を進めるときに、位置ニードル 2612 および情報領域 2614 の両方を同時に移動させることができある。これは図 27 に示され、図では、2 時間 56 分のプログラムを再生していても、位置ニードル 2712 および情報領域 2714 が互いに連結されて示されている。他の実施態様では、情報領域は一定の位置（例、トランスポートツールバーの左端側）にとどまり、一方で、位置ニードルはプレイリスト内のプログラムの再生に伴って進むものと理解されたい。他の実施態様では、位置ニードルおよび情報領域を固定したままにして、再生の進行とともにアセット領域を左へ移動させる。

【0157】

以下図 26 を参照する。アセット領域 2622、2624、および 2626 のそれぞれは、プレイリスト（例、ジェーンのプレイリスト）内のアセット（例、プログラム）に対応することができる。例えば、アセット領域 2622 は、プレイリスト内の最初のアセット（例、画面 2600 上で再生されているように示されるロスト・エピソード 2）に対応することができる。アセット領域 2624 は、再生されるプレイリスト内の次のアセット（例、メン・イン・ブラック）に対応することができる、アセット領域 2626 は、アセット領域 2624 に対応するアセットに続くアセットに対応することができる。

20

【0158】

アセット領域の表示に関しては、複数の異なる手法を用いることが可能である。アセット領域は、長方形の形態で表示することができあり、その領域は端と端がつなげられ、1 つのアセット領域が終わり、別の領域が始まるところを明確に示すように明確に描写される。さらに、その領域は、特定の属性（例、色またはハイライト）を示して、1 つの領域を他の領域からさらに区別することができる。例えば、現在再生中の領域を他の領域とは異なる色にすることが可能である。別の例として、その領域を着色して、アセットのテーマまたはジャンルを示すことができる。領域を示す多数の様々な方法を行うことが可能であり、当該の表示技術はデザインの選択によるところが大きいことを理解されたい。したがって、本願明細書において特に述べられなかった様々な表示技術（例、アセット領域の形状、色彩、およびハイライトなど）を、プレイリストトランスポートバーに適用することができます。

30

【0159】

図 26 は、プレイリストトランスポート制御バーを含む、当該の表示画面の一例に過ぎない。他の好適な機構を用いることが可能である。例えば、アセットタイトル、チャネル、他の好適なプログラム関連の情報、広告、ロゴ、またはそれらのあらゆる組み合わせのような情報を、プレイリストトランスポートバー内に、またはこれに関連付けて表示することが可能である。

40

【0160】

所与の時間にプレイリスト内に表示させるアセット領域の数、および表示されたアセット領域のそれぞれが占める空間の決定において、複数の異なる手法を実践することが可能である。図 28 は、プレイリスト内の各アセットのアセット領域を示す、例示的なプレイリストトランスポートバー 2802 を示す図である。本手法は、プレイリストトランスポ

50

ートバー 2802 がプレイリスト全体の代表的な領域を含むようにするものである。したがって、ユーザーがプレイリストトランスポートバー 2802 を見たときに、そのユーザーは、プレイリストの再生がどのくらい進んだのかを即座に判断することができる。

【0161】

プレイリストが、例えば 5 つのアセットを含む場合、プレイリストトランスポートバーは、それら 5 つのアセットに対応する 5 つのアセット領域を表示する。双方向メディアガイドンスアプリケーションは、プレイリスト内の各アセットに対する領域を同時に表示するために、各アセット領域に適切なサイズを割り当て、オプションで、各アセットのランレンジスのような因子を考慮することが可能である。図に示されるように、プレイリストトランスポートバー 2802 は、5 つの領域 2821、2822、2823、2824、および 2825 を含み、それぞれの領域は、それらの相対的な長さに基づいて割り当てられた空間である。例えば、アセット領域 2822、2823、および 2825 が 30 分の番組を示し、アセット領域 2821 が 1 時間の番組を示し、アセット領域 2824 が 2 時間の番組を示すことが可能である。10

【0162】

図 29 は、プレイリストの全ての潜在的アセットに対応する領域によってトランスポートバー 2902 を飽和させないように、表示される領域の数を制限し、それによって、ユーザーが、迅速かつ容易に異なる領域の区別を潜在的に難しくする、例示的なプレイリストトランスポートバー 2902 を示す図である。本手法では、比較的少ない数（例、2 乃至 6）の領域をプレイリストトランスポートバー内に表示することが可能である。このように、プレイリストが多数のアセットを含む場合、プレイリストトランスポートバー 2902 は、例えば、現在再生中の領域を中心とする領域のような、2、3 の領域だけを表示することが可能である。20

【0163】

さらに、プレイリストトランスポートバー 2902 内に表示される領域の数を常に制限することによって、双方向メディアガイドンスアプリケーションは、表示された領域のそれぞれに、適切な所定の最小空間を割り当てることができる。図 29 では、プレイリストトランスポートバー 2902 は、9 時間 45 分のプログラムを有するプレイリストに対応しているが、例えば 4 時間のプログラムだけしか常に表示することができない。例えば、領域 2921 および 2923 は、1 時間のプログラムを表示することが可能であり、領域 2922 は、2 時間のプログラムを表示することが可能である。図に示されるように、各領域に正確に割り当たる間隔は、他の示されたアセットに対して特定のアセットの長さを反映する。すなわち、領域 2922（2 時間のアセット）は、領域 2921（1 時間のアセット）のほぼ 2 倍を占める。30

【0164】

双方向メディアガイドンスアプリケーションは、プレイリストトランスポートバーの中央に現在再生中の領域 2922 を配置し、他の領域またはその位置を現在再生中の領域の両側に配置することが可能である。図 29 では、位置表示領域 2910 は、領域 2922 に置かれており、領域 2922 に対応するアセットが再生されていることを示す。領域 2922 が現在の領域であるので、領域 2921 をその前に配置し、領域 2923 をその後に配置することが可能である。位置表示領域 2910 が領域 2923 へ進むとき、双方向メディアガイドンスアプリケーションは、プレイリストトランスポートバー 2902 の中央に領域 2923 を配置することが可能であり、その結果、図 30 のプレイリストトランスポートバー 2904 となる。図 30 は、中央付近に配置された領域 2923 であって、領域 2923 の左側に位置する領域 2922 の一部、および領域 2923 の右側に位置する領域 2924 および 2925 を有する領域を示す図である。領域 2922 によって示されるように、表示の始めまたは終わりの領域を省略し、割り当てられた長さの一部だけを示すことが可能である。いくつかの実施態様では、省略されたアセット領域は、例えば辺縁または矢印型の端部によって、アセット領域全体とは別に表示することが可能である。40

【0165】

50

図29および30を参照して述べられる実施態様のように、プレイリストトランスポートバーは、所定の最大時間数だけプログラムを表示することが可能である。したがって、プレイリスト内のプログラムの時間数が、常に表示できる時間数を超えた場合、プレイリストトランスポートバーは、常に表示できる時間数を合計した、領域またはその部分だけを表示することが可能である。プレイリスト全体の長さが画面に表示されない実施態様では、プレイリストトランスポートバーの始めおよび／または終わりにインジケータを示して、ユーザーに更なるアセットが利用可能であることを通知することが可能である。例えば、矢印または省略記号を使用して、表示されたアセット領域の前に、またはその後ろに更なるアセットを示すことが可能である。

【0166】

10

図31は、双方向メディアガイダンスアプリケーションが、早送り、巻き戻し、アセットのスキップ、アセットの再生、アセットのリプレイ、またはリモート機器（例、リモートコントロール）によって直接サポートされているかどうか分からぬ他の機能のような、プレイリスト内のアセットの再生に影響するコマンドを実行するときに表示されうる、プレイリストトランスポートバー3102を示す図である。例えば、ユーザーが、アセットを通じて早送りコマンドを開始したとき、プレイリストトランスポートツールバー3102を、少なくとも早送りの期間表示することが可能である。早送りの間に、位置表示領域3110を左から右に迅速に進めながら示すことが可能であり、情報領域3114内に表示された時間を早送りの速度で経過させて示すことが可能である。加えて、情報領域3114は、従来の早送り記号を表示して、ユーザーに早送りコマンドが実行されていることを示すことが可能である。情報領域3114は、図31に示されるようなアイコン、文字、または他の好適な形態で、現在のアクションステータス（例、再生、巻き戻し、早送り、一時停止、または他の好適なモード）を示すことが可能である。

【0167】

20

図32、図33、図34A、図34B、図35A、図35B、および図36は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、プレイリストトランスポートバー内のハイライト領域をナビゲートすることが可能であり、必要に応じて、特定のアクションを生じさせることができ、いくつかの例示的なプレイリストトランスポートバーを示す図である。以下図32を参照する。ユーザーは、トランスポートバー3202の様々な要素に、ハイライト領域3218（現在は以来としているアセット領域3221）をナビゲートすることが可能である。例えば、ユーザーは、アセット領域3221、3222、3223の内のいずれか1つ、または、（表示できる領域の数が制限された実施態様のような）いくつかの実施態様では、現在表示されていない領域に、ハイライト領域3218をナビゲートすることが可能である。ユーザーは、位置表示領域3210またはプレイリスト名3230に、ハイライト領域3218をナビゲートすることが可能である。双方向メディアガイダンスアプリケーションは、ユーザーのプレイリストトランスポートバー内の要素のナビゲーション、またはユーザーのハイライトされた要素の選択に応えて、所定の機能を実行することが可能である。例えば、双方向メディアガイダンスアプリケーションは、ユーザーがアセット領域3221をハイライトしたときに、アセット領域3221に対応するアセットに関連する情報を含む情報オーバーレイ3240を表示することが可能である。ユーザーが、アセット領域をハイライトし、例えばリモートコントロール上の選択キーを押すことによってアセットを選択した場合、双方向メディアガイダンスアプリケーションは、選択されたアセットの再生を即座に開始することが可能である。

【0168】

30

図33は、ハイライト領域3318がプレイリスト名3330にナビゲートされた、例示的なプレイリストトランスポートバー3302を示す図である。図33に示されるように、ユーザーが、プレイリスト名3330にハイライト領域をナビゲートするか、または前記プレイリスト名を選択した後に、プレイリストの複数の名前を表示することが可能である。これらのプレイリストは、ユーザーによって以前に作成されたプレイリスト、またはシステムオペレータによって提供されたプレイリストを含むことが可能である。利用可

40

50

能なプレイリストを表示することによって、特定のプレイリストへナビゲートするか、またはプレイリストを選択することによって、異なるプレイリスト内にロードするオプションをユーザーに提供する。新しいプレイリストを選択したとき、ユーザーに確認画面を表示することが可能であり、確認すると、双方向メディアガイダンスアプリケーションは、選択されたプレイリストの再生を開始し、選択されたプレイリストに合わせたプレイリストトランスポートを表示することが可能である。

【0169】

図34AおよびBは、本発明の一実施態様による、どのようにユーザーが位置表示領域を任意の所望の位置に手動でドラッグアンドドロップできるのかを示す、前後の画面ショットを示す図である。図34Aは、ハイライト領域3418によってハイライトされた位置ニードル3412を示す図である。情報領域3414が、45分の時間を指定していることに留意されたい。ユーザーが、ハイライトされた位置ニードルを選択したとき、双方向のテレビ番組ガイドは「ドラッグアンドドロップモード」に入ることが可能であり、これによって、ユーザーは、例えばリモート機器上の押ボタン（例、左および右カーソルボタン）を使用して、位置表示領域3410を別の位置（例、他の領域）に手動で移動することができる。図34Bは、図34Aの位置表示領域3410の位置に対して、（情報領域3414によって示されるように）位置表示領域3410を5分戻したこと示す図である。

10

【0170】

ユーザーが、所望の位置に位置表示領域3410を配置したとき、ユーザーは、複数の異なる方法で、ドラッグアンドドロップモードから抜けることが可能である。例えば、ユーザーは、特定のボタン（例、終了ボタン、再生ボタン、または選択ボタン）を押すことによって、または位置表示領域3410から離れてナビゲートすることによって、位置表示領域3410を非選択状態にすること可能である。位置表示領域3402を移動させると、時間情報がそれに伴って変化し、ニードル位置3412が異なる領域におかれると、プレイリスト内のアセットの表示名が変化することに留意されたい。新しい再生位置が選択されると、双方向メディアガイダンスアプリケーションは、新しく選択されたアセットおよび時間で再生を開始することが可能である。

20

【0171】

図35AおよびBは、本発明の実施態様による、どのようにユーザーが「次の領域にスキップ」機能を使用して、位置表示領域3510の位置を移動することができるのかを示す、前後の画面ショットを示す図である。「次の領域にスキップ」機能は、隣接するアセット領域の先頭へ位置表示領域3510を進めることができる。「次の領域にスキップ」機能は、図35Aに示されるように、位置ニードル3512が選択されたときに起動することが可能である。ユーザーが、リモート機器上のあるボタン（例、上矢印／下矢印ボタン、次ページ／前ページボタン、または専用の次／前ボタン）を押したとき、位置表示領域を次の領域にスキップすることができます。

30

【0172】

図35Bは、ユーザーが、例えば右矢印ボタンを1回押したときの、スキップ機能の結果を示す図である。図に示されるように、位置表示領域は、領域3521から領域3522の先頭にスキップする。ユーザーが再び右矢印ボタンを押した場合、位置表示領域を、領域3523の先頭にスキップすることができる。

40

【0173】

ユーザーが、左矢印ボタンを押した場合、位置表示領域3510を、位置表示領域3510が現在オーバーレイしている領域の先頭か、または位置表示領域3510が現在オーバーレイしている領域に隣接した領域の先頭に進めることができる。別の一実施態様として、位置表示領域3510は、現在配置されている領域の先頭に位置表示領域3510がある場合に限り、以前の領域の先頭に進めることができる。

【0174】

図36は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、例えば情報領域3614にハイラ

50

イト領域をナビゲートしたときに表示されうる、例示的なプレイリストトランスポートバー-3602の画面ショットを示す図である。図に示されるように、情報領域3614が、ハイライト領域3618によってハイライトされたとき、プレイリストオプションメニュー-3640を表示することが可能である。プレイリストオプションメニュー-3640は、位置表示領域3610によって現在示されている領域に関連付けられたアセットに関して、またはそのアセットの現在の位置に関して、複数の異なる関数の内の1つを実行する機会をユーザーに提供する。ユーザーは、ハイライト領域を所望の機能にナビゲートし、リモート機器上の所定のボタンを選択することによってこれらの機能の内の1つを実行することが可能である。

【0175】

10

プレイリストオプションメニュー-3640に含まれる機能は、プレイリストの編集、またはプレイリスト内の様々なアセットに関する情報へアクセスするような、プレイリスト内のアセットの操作に更なる柔軟性を提供することが可能である。例えば、ユーザーは、削除アセット(DELETE ASSET)3641を選択してアセットをプレイリストから削除するか、スキップアセット(SKIP ASSET)3642を選択してアセットの再生をスキップするか、リピートアセット(REPEAT ASSET)3643を選択してアセットの再生を繰り返すか、またはこのアセットに対する情報(INFO FOR THIS ASSET)3644を選択してアセットに関する更なる情報を見ることが可能である。加えて、このアセットを次に再生3645を選択して、プレイリストに示された順序に関係なく、このセットを次に再生させることが可能である。このアセットを次に再生3645(PLAY THIS ASSET NEXT)の選択によって、プレイリストが再び順序付けられる。さらに、このアセットを今再生(PLAY THIS ASSET NOW)3646を選択して、実質的に即座にこのアセットを再生させることが可能である。プレイリストオプションメニュー-3640に含まれる機能は、デザインの選択によるところが大きく、本願明細書に述べた特定の例を制限するものではないことに留意されたい。プレイリストオプションメニューに含むことの可能な機能のさらに詳細な情報および異なる例は、同時係属の米国特許出願番号第11/324,191号(2005年12月29日出願)に見出すことが可能であり、その開示は参照することによりその全体が組み込まれる。当該のメニューからアクセスすることが可能な他の機能の例には、後に容易にジャンプすることができる現在のアセット内の現在の位置におけるマークの設定、以前選択したマーク済みの位置へのジャンプ、特定のアセットを選択して再生を開始する、再生を開始する現在のアセット内の特定の再生オフセットの選択、およびユーザー指定の秒数または分数によるプレイリスト内の前後へのジャンプ、が挙げられる。

20

【0176】

30

プレイリストオプションメニュー-3640は、本願明細書に述べられた以外の方法で、表示またはアクセスすることが可能であることに留意されたい。例えば、リモート機器は、ハイライト領域が情報領域3614にナビゲートされたかどうかに関係なく、ボタンを押したときにプレイリストオプションメニュー-3640が表示されるボタンを含むことが可能である。別の手法では、プレイリストオプションメニュー-3640は、ユーザーが、例えばリモート機器を使用してハイライトされた情報領域3614を選択した後にだけ表示することが可能である。

40

【0177】

図37は、本発明の実施態様による、プレイリストトランスポートバーの表示を示すフローチャートである。ステップ3702から始まり、プレイリストが提供される。本プレイリストは、利用可能な多数のプレイリストのうちの1つとすることが可能であり、双方向メディアガイダンスアプリケーションを、本発明によるプレイリストトランスポートバーを表示するために使用することが可能である。ステップ3704で、双方向メディアガイダンスアプリケーションは、プレイリストのためのプレイリストトランスポートバーを表示することが可能である。プレイリストトランスポートバーは、プレイリスト内のアセットに対応するアセット領域と、プレイリスト内の再生位置の表示を提供する位置表示領

50

域とを含むことが可能である。プレイリストトランスポートバーが表示されると、複数の異なるアクションをとることが可能である。例えば、プレイリストトランスポートバー内の新しい位置に（例えばユーザーが手動で）位置表示領域を移動することが可能である。別の例のアクションは、ハイライト領域をナビゲートして、アセットに関連する更なる情報か、またはプレイリストトランスポートバー（例、図36のプレイリストオプションメニュー）に関連して利用可能な他の機能にアクセスすることが可能である。

【0178】

（第V節 VOD情報画面）

いくつかの実施態様では、双方向テレビアプリケーション（例、IPG）は、ユーザーに、プレイリストへのアクセス、およびVODプログラム情報画面からのブックマーク機能を提供することが可能である。¹⁰ 図38および39は、例えば、ユーザーのVODプログラムリスト表示からのVODプログラムリストの選択に応えて提供することができる、例示的なVOD情報画面を示す図である。

【0179】

図38では、選択されたプログラムは、無料のVODプログラムであり、例示的なプレイリストアイコンがハイライトされている。本実施態様では、無料のVODプログラムだけをプレイリストに追加することが可能である。他の実施態様では、有料のVODプログラムおよび他のタイプのプログラムをプレイリストに追加することが可能である。

【0180】

図39では、選択されたプログラムは、有料のVODプログラムであり、例示的なブックマークアイコンがハイライトされている。他の実施態様では、無料のVODプログラムおよび他のタイプのプログラムをブックマーク済みとすることができる。

【0181】

ユーザーが図38のプレイリストアイコンを選択すると、双方向テレビアプリケーションは、ユーザーがプログラムを追加するプレイリストを選択できる、例えば図11のプログラム選択オーバーレイのような、オーバーレイを示すことが可能である。プレイリストが設定されていない場合、双方向テレビアプリケーションは、その代わりに、例えば、図3の例示的なプレイリスト未設定オーバーレイのような、プレイリストがないことを示すオーバーレイを表示することが可能である。

【0182】

ユーザーが図39のブックマークアイコンを選択すると、双方向テレビアプリケーションは、ユーザーがプログラムのマークを確認できる、図21のプログラムブックマーク確認オーバーレイのようなオーバーレイを表示することが可能である。

【0183】

本発明の上述の実施態様は、限定ではなく例示目的のために示されるものであり、本発明は、以下の請求項によってのみ制限される。

【図面の簡単な説明】

【0184】

【図1】図1は、本発明の一実施態様による、例示的な双方向メディアガイダンスシステムの図である。⁴⁰

【図2】図2は、本発明の一実施態様による、ユーザーにプレイリスト機能へのアクセスを提供するための「マイ プレイリスト」のオプションを有する、例示的なVODメニューを示す図である。

【図3】図3は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、図2のVODメニューから「マイ プレイリスト」のオプションを選択したときに表示されうる、例示的なプレイリスト未設定オーバーレイを示す図である。

【図4】図4は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、図3の「プレイリスト未設定」オーバーレイ上で「プレイリストを設定する」ボタンを選択したときに表示されうる例示的な画面を示す図である。

【図5】図5は、本発明の一実施態様による、例示的なプレイリストのリストを示す図で

10

20

30

40

50

ある。

【図6】図6は、本発明の一実施態様による、ハイライトされたプログラムを示すプログラム画面を有する、例示的なプレイリストを示す図である。

【図7】図7は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、プレイリスト内のプログラムの順序を変更することができるオプションを示すプログラム画面を有する、例示的なプレイリストを示す図である。

【図8】図8は、本発明の一実施態様による、チェックボックスにナビゲートすることができるハイライト領域を示すプログラム画面を有する、例示的なプレイリストを示す図である。

【図9】図9は、本発明の一実施態様による、図8のチェックボックスが、選択されたチェックボックスに関連するプログラムをプレイリストから削除することを示すように選択できることを示すプログラム画面を有する例示的なプレイリストを示す図である。 10

【図10】図10は、本発明の一実施態様による、例示的なキーボードオーバーレイを示す図である。

【図11】図11は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、プレイリストのリストから1つのプレイリストを選択することができるようとする、例示的なオーバーレイを示す図である。

【図12】図12は、本発明の一実施態様による、更なるプレイリストを作成できないことをユーザーに通知する、例示的なオーバーレイを示す図である。

【図13】図13は、本発明の一実施態様による、更なるプログラムをプレイリストに追加できないことをユーザーに通知する例示的なオーバーレイを示す図である。 20

【図14】図14は、本発明の一実施態様による、プレイリストへのプログラムの追加が成功したことを示す、例示的なオーバーレイを示す図である。

【図15】図15は、本発明の一実施態様による、ユーザーに様々な削除オプションを提供する、例示的なオーバーレイを示す図である。

【図16】図16は、本発明の一実施態様による、プレイリストの削除を確認する、例示的なオーバーレイを示す図である。

【図17】図17は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、ロックアクションアイコンを選択したときに表示されうる、例示的なオーバーレイを示す図である。

【図18】図18は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、検索アクションアイコンを選択したときに表示されうる、例示的な検索画面を示す図である。 30

【図19】図19は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、検索アクションアイコンを選択したときに提供されうる、別の検索画面を示す図である。

【図20】図20は、本発明の一実施態様によって表示されうる、全てのプログラムの消去を確認するオーバーレイを示す図である。

【図21】図21は、本発明の一実施態様による、VODプログラムを確認する表示の例示的なブックマークを示す図である。

【図22】図22は、本発明の一実施態様によって表示されうる、例示的な以前にブックマーク済み確認オーバーレイを示す図である。

【図23】図23は、本発明の一実施態様による、例示的な保存プログラムのリスト画面を示す図である。 40

【図24】図24は、本発明の一実施態様による、別の例示的な保存プログラムのリスト画面を示す図である。

【図25】図25は、本発明の一実施態様による、例示的なビデオの削除確認オーバーレイを示す図である。

【図26】図26は、本発明の一実施態様による、プログラムを再生するための例示的なトランスポートバーを示す図である。

【図27】図27は、本発明の一実施態様による、プログラムを再生するための別の例示的なトランスポートバーを示す図である。

【図28】図28は、本発明の一実施態様による、プレイリスト内の各アセットの領域を 50

示す、例示的なプレイリストトランスポートバーを示す図である。

【図29】図29は、本発明の一実施態様による、表示される領域の数が制限された例示的なプレイリストトランスポートバーを示す図である。

【図30】図30は、本発明の一実施態様による、図29のプレイリストトランスポートバーの一例を示す図である。

【図31】図31は、本発明の一実施態様による、プレイリストトランスポートツールバーを示すユーザーが、プレイリスト内のアセットの再生に影響するコマンドを実行しているときに表示されうる、プレイリストトランスポートツールバーを示す図である。

【図32】図32は、図33、図34A、図34B、図35A、図35B、および図36は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、プレイリストトランスポートバー内のハイライト領域をナビゲートすることが可能であり、必要に応じて、特定のアクションを生じさせることができ、いくつかの例示的なプレイリストトランスポートバーを示す図である。
10

【図33】図32は、図33、図34A、図34B、図35A、図35B、および図36は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、プレイリストトランスポートバー内のハイライト領域をナビゲートすることが可能であり、必要に応じて、特定のアクションを生じさせることができ、いくつかの例示的なプレイリストトランスポートバーを示す図である。

【図34】図32は、図33、図34A、図34B、図35A、図35B、および図36は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、プレイリストトランスポートバー内のハイライト領域をナビゲートすることが可能であり、必要に応じて、特定のアクションを生じさせることができ、いくつかの例示的なプレイリストトランスポートバーを示す図である。
20

【図35】図32は、図33、図34A、図34B、図35A、図35B、および図36は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、プレイリストトランスポートバー内のハイライト領域をナビゲートすることが可能であり、必要に応じて、特定のアクションを生じさせることができ、いくつかの例示的なプレイリストトランスポートバーを示す図である。

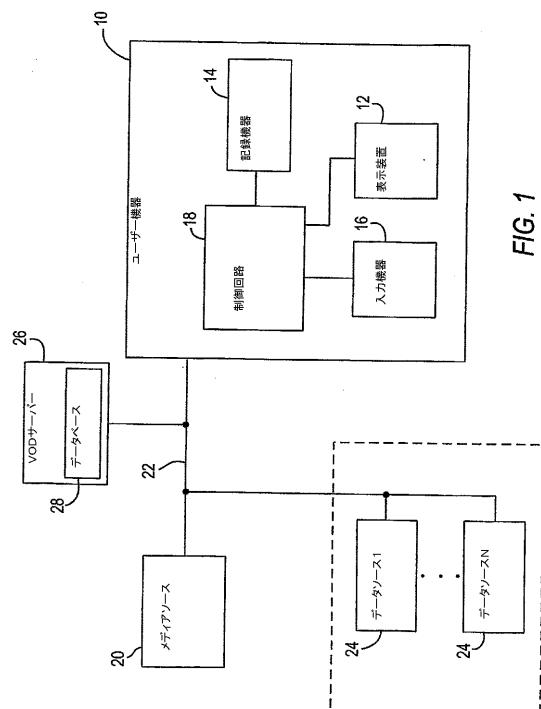
【図36】図32は、図33、図34A、図34B、図35A、図35B、および図36は、本発明の一実施態様による、ユーザーが、プレイリストトランスポートバー内のハイライト領域をナビゲートすることが可能であり、必要に応じて、特定のアクションを生じさせることができ、いくつかの例示的なプレイリストトランスポートバーを示す図である。
30

【図37】図37は、本発明の一実施態様による、プレイリストトランスポートバーを表示する例示的ステップのフローチャートである。

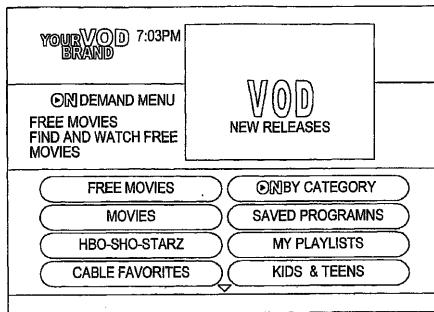
【図38】図38は、本発明の一実施態様によって表示されうる、例示的なVODプログラム情報画面を示す図である。

【図39】図39は、本発明の一実施態様によって表示されうる、別の例示的なVODプログラム情報画面を示す図である。

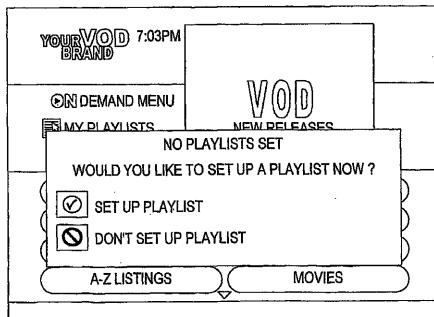
【図1】



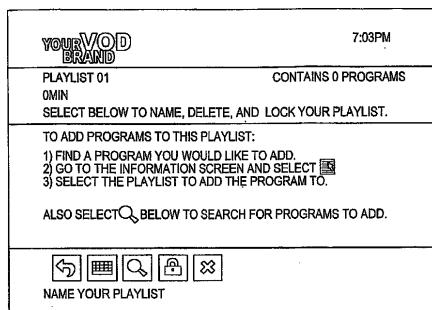
【図2】



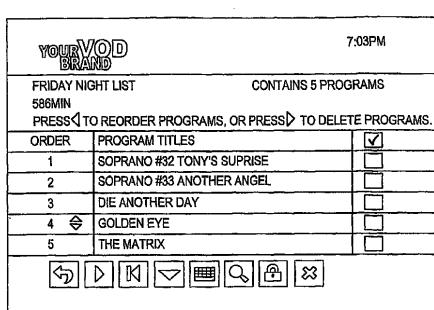
【図3】



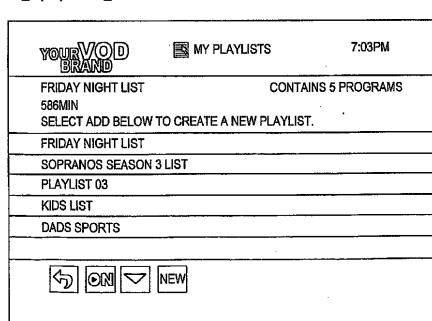
【図4】



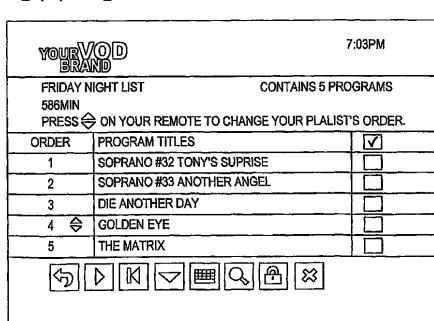
【図6】



【図5】



【図7】



【図8】

YOUR VOD BRAND 7:03PM

FRIDAY NIGHT LIST CONTAINS 5 PROGRAMS
586MIN

✓ A AND THEN SELECT X BELOW TO DELETE PROGRAMS.

ORDER	PROGRAM TITLES	
1	SOPRANO #32 TONY'S SURPRISE	<input type="checkbox"/>
2	SOPRANO #33 ANOTHER ANGEL	<input type="checkbox"/>
3	DIE ANOTHER DAY	<input type="checkbox"/>
4	GOLDEN EYE	<input checked="" type="checkbox"/>
5	THE MATRIX	<input type="checkbox"/>

FIG. 8

【図10】

YOUR VOD BRAND 7:03PM

PLAYLIST 01 0MIN CONTAINS 0 PROGRAMS

SELECT BELOW TO NAME: JACKS L. YOUR PLALIST.

DEL	SP	SAVE			
A	B	C	D	E	F
G	H	I	J	K	L
M	N	O	P	Q	R
S	T	U	V	W	X
Y	Z	1	2	3	4
5	6	7	8	9	0

TO ADD PROGRAM TO THIS PLAYLIST:
1) FIND A PROGRAM YOU WANT TO ADD.
2) GO TO THE INFORMATION SCREEN.
3) SELECT THE PLAYLIST.

ALSO SELECT Q. BELOW GRAMS TO ADD.

FIG. 10

【図9】

YOUR VOD BRAND 7:03PM

FRIDAY NIGHT LIST CONTAINS 5 PROGRAMS
586MIN

✓ A AND THEN SELECT X BELOW TO DELETE PROGRAMS.

ORDER	PROGRAM TITLES	
1	SOPRANO #32 TONY'S SURPRISE	<input type="checkbox"/>
2	SOPRANO #33 ANOTHER ANGEL	<input type="checkbox"/>
3	DIE ANOTHER DAY	<input type="checkbox"/>
4	GOLDEN EYE	<input checked="" type="checkbox"/>
5	THE MATRIX	<input type="checkbox"/>

FIG. 9

【図11】

YOUR VOD BRAND 7:03PM

PLAYLIST

SELECT A PLAYLISTS TO ADD THIS PROGRAM TO.

PLAYLISTS
FRIDAY NIGHT LIST
SOPRANOS SEASON 3 LIST
PLAYLIST 3
KIDS LIST

NEW

FIG. 11

【図12】

YOUR VOD BRAND 7:03PM

MY PLAYLISTS

MAXIMUM PLAYLISTS
YOU CANNOT CREATE MORE THAN 24 PLAYLISTS AT A TIME.
TO CREATE A NEW PLAYLIST, FIRST DELETE A PREVIOUSLY CREATED PLAYLIST.

DADS SPORTS

NEW

FIG. 12

【図14】

YOUR VOD BRAND 7:03PM

THE BOURNE IDENTITY NEW PG-13 (2002)
FREE 120MIN

PROGRAM ADDED
THIS PROGRAM HAS BEEN ADDED TO THE FOLLOWING PLAYLIST.

FRIDAY NIGHT LIST
CONTAINS 3 PROGRAMS

CONFIRM

FIG. 14

【図13】

YOUR VOD BRAND 7:03PM

VOD

SELECT A PLAYLIST TO ADD THIS PROGRAM TO.

PLAYLISTS
FRIDAY NIGHT LIST

YOU CANNOT ADD ANY MORE PROGRAMS TO THIS PLAYLIST.

NEW

FIG. 13

【図15】

YOUR VOD BRAND 7:03PM

FRIDAY NIGHT LIST CONTAINS 5 PROGRAMS
586MIN

DELETION OPTIONS

<input checked="" type="checkbox"/> DELETE PROGRAMS WITH A <input checked="" type="checkbox"/> ONLY
<input checked="" type="checkbox"/> DELETE ALL PROGRAMS
<input checked="" type="checkbox"/> DELETE THE ENTIRE PLAYLIST
<input type="checkbox"/> DONT DO ANYTHING

DELETION OPTIONS

FIG. 15

【図16】

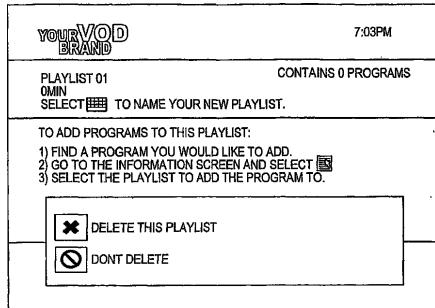


FIG. 16

【図17】

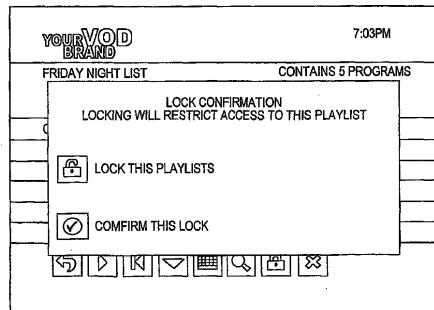


FIG. 17

【図18】

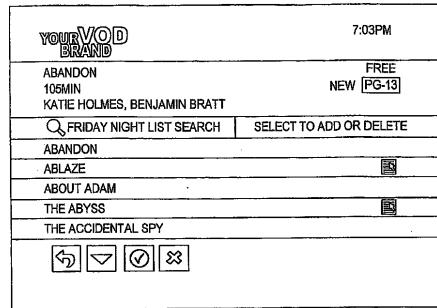


FIG. 18

【図19】

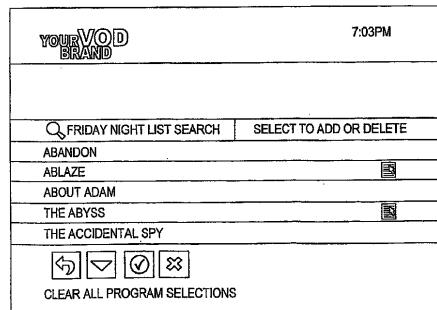


FIG. 19

【図20】

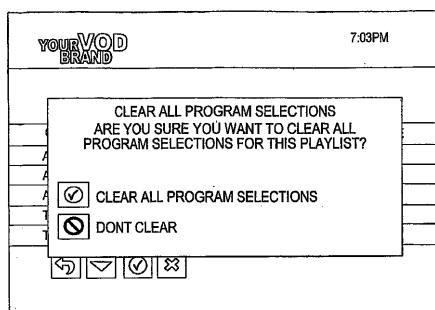


FIG. 20

【図21】

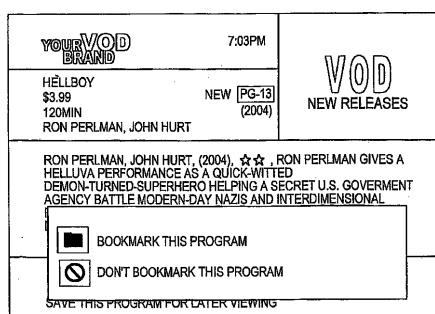


FIG. 21

【図22】

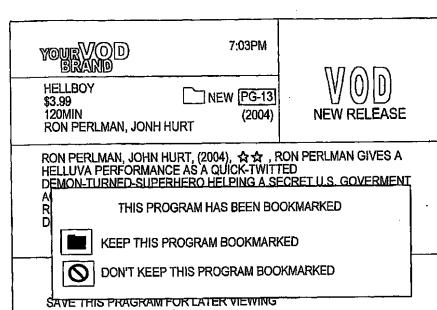


FIG. 22

【図23】

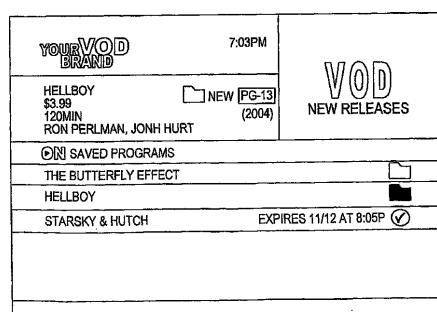


FIG. 23

【図24】

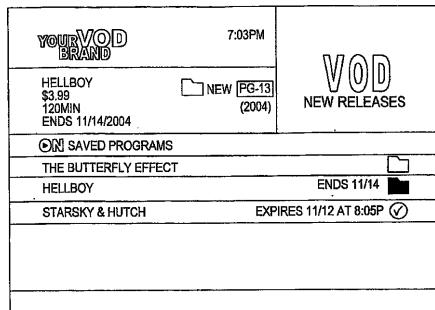


FIG. 24

【図25】

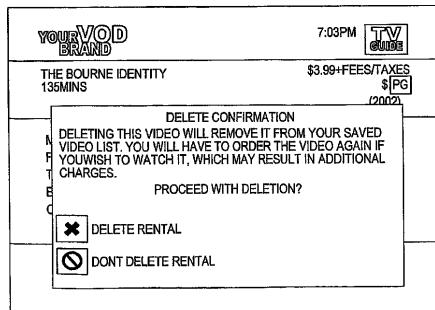


FIG. 25

【図26】

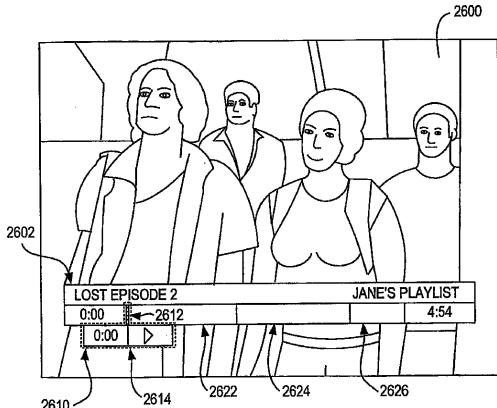


FIG. 26

【図27】

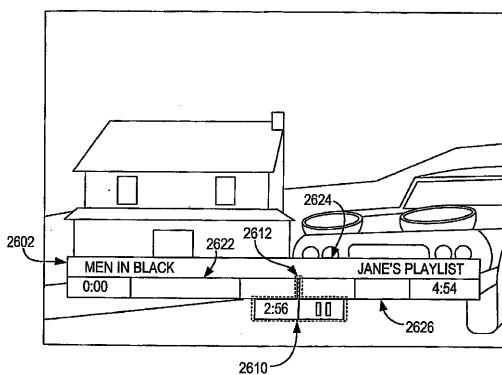


FIG. 27

【図29】

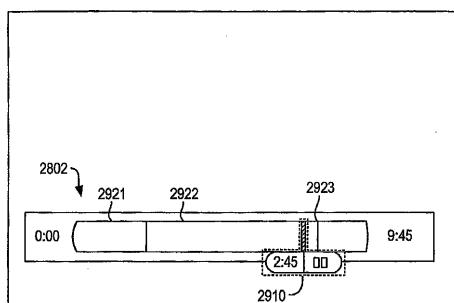


FIG. 29

【図28】

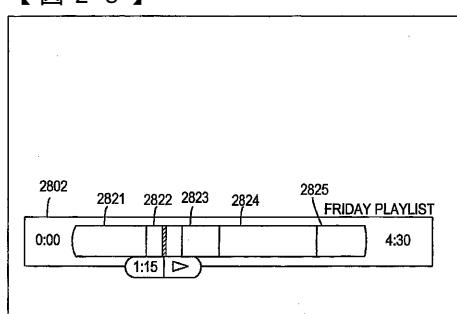


FIG. 28

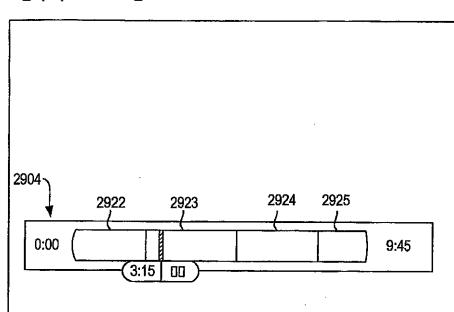


FIG. 30

【図31】

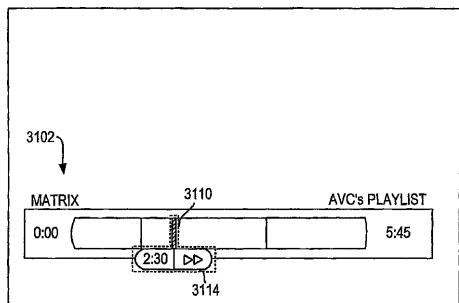


FIG.31

【図32】

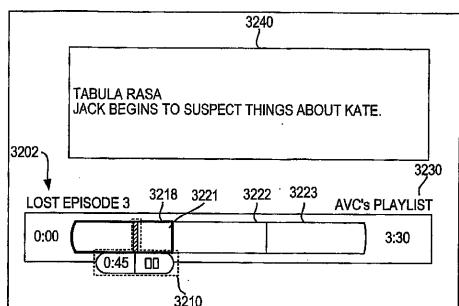


FIG.32

【図33】

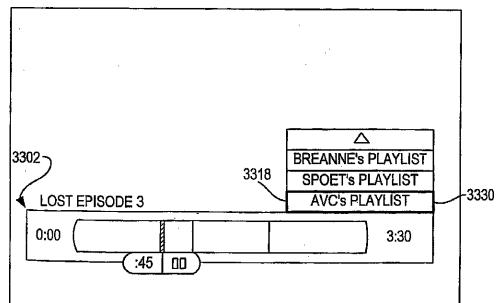


FIG.33

【図34A】

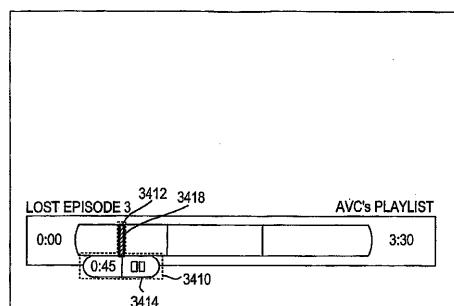


FIG.34A

【図34B】

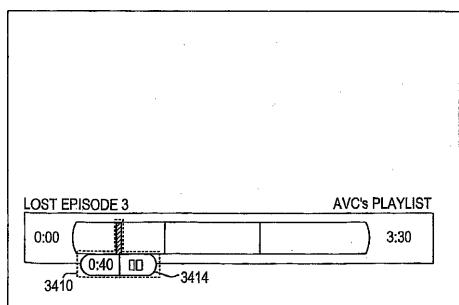


FIG.34B

【図35A】

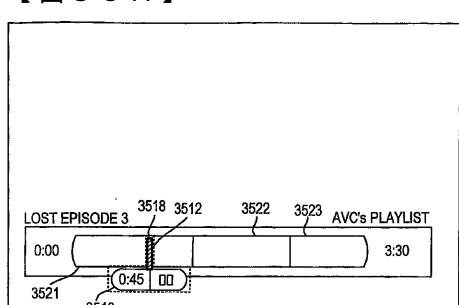


FIG.35A

【図35B】

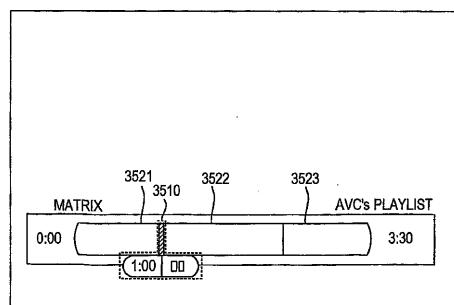


FIG.35B

【図36】

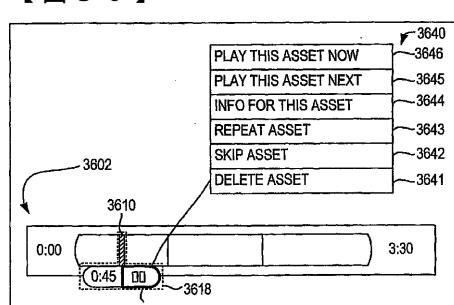


FIG.36

【図37】

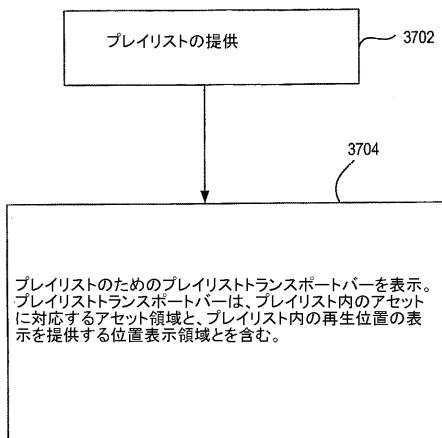


FIG. 37

【図38】

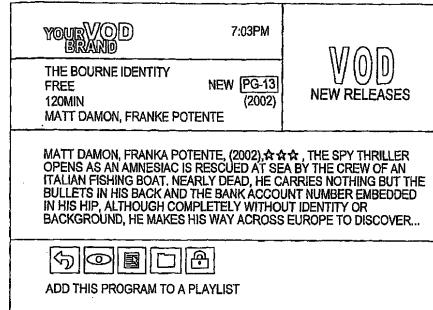


FIG. 38

【図39】

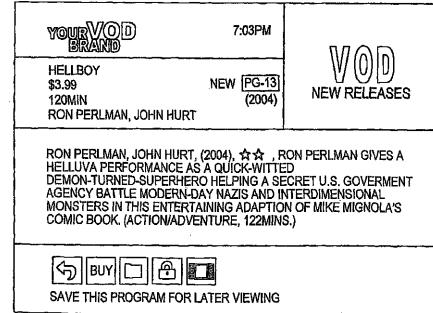


FIG. 39

フロントページの続き

(72)発明者 ラドロフ, ジョン ピー.

アメリカ合衆国 コロラド 80108, キャッスル ロック, ジャスパー ポイント サークル 5760

(72)発明者 キャロル, トーマス ジェイ.

アメリカ合衆国 ペンシルベニア 19020, ベンサレム, パーンズレイ ドライブ 45
24

(72)発明者 ヘイナー, マーク

アメリカ合衆国 コロラド 80403, ゴールデン, ロビンソン ヒル ロード 3239
9

(72)発明者 カーペンター, ケニス エフ. ジュニア

アメリカ合衆国 ニュー ジャージー 08054, マウント ローレル, サウス ブレントウッド ドライブ 544

(72)発明者 ガイドゥ, ダニー

アメリカ合衆国 ペンシルベニア 19341, エクストン, ファーンキャッスル ドライブ
496

審査官 矢野 光治

(56)参考文献 米国特許第06850691(US, B1)

米国特許出願公開第2005/0005308(US, A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

H04N 7/16-7/173